



湧別地区

中高一貫
教育

令和七年度

研

究

集

録

湧別町立上湧別学園
湧別町立ゆうべつ学園
湧別町立芭露学園
北海道湧別高等学校

湧別地区

中高一貫教育推進委員会

目 次

- 1 巻頭言
- 2 理念/規約/地域と4校の概要/ R7年度方針
- 3 組織一覧
- 4 推進事務局活動記録
- 5 成果と課題/次年度計画
- 6 各実践部会活動記録
- 7 中高一貫だより
- 8 つなぎ学習

実践部会

教育課程・学習指導部会

各教科

国語
社会（地歴・公民）
数学
理科
英語
保健体育
音楽
その他
養護
特別支援

特別活動・生徒指導部会

総探究部会

総探中学校 1 学年
総探中学校 2 学年
総探中学校 3 学年

1 卷頭言

中高一貫教育の充実を願って

湧別地区中高一貫教育推進委員会委員長

(湧別町教育委員会教育長)

阿 部 勉

本町の中高一貫教育は、「地域の子どもは地域で育てる」という理念のもと、推進しているものであります。今年度、町内すべての学校が義務教育学校となり、義務教育学校3校と北海道湧別高等学校が連携し、義務教育9年間と高校の3年間、さらにその先を見通した教育活動の充実を図ることにより、児童生徒一人一人の個性と可能性を伸ばし、将来、地域やオホーツクを担う人材の育成を目指しているところであります。

これまで、教科学習の充実や主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、地域と連携した探求的な学習など校種を超えた連携を生かした教育実践が積み重ねられてまいりました。中高の接続を意識した指導や交流活動の充実により、児童生徒の学習意欲の向上や進路意識の醸成が図られているとともに、地域への理解や郷土への愛着を深める取組が着実に進められてきております。

こうした取組を進めるにあたり、各学校の先生方には、日々の教育活動の中でご尽力いただいておりますことに、深く敬意を表すところであります。また、地域の皆様や関係機関のご理解とご協力が、本町の教育活動を支える大きな力になっているものと認識しております。

近年、社会の急速な変化や価値観の多様化が進む中、子どもたちには、基礎的・基本的な学力の確実な定着に加え、主体的に学び続ける力や他者と協働しながら課題を解決する力が一層求められています。さらに、地域社会の一員として主体的に関わり、地域の未来を担う意識を育成していくことも、これからの教育において重要な役割となっております。

今後におきましても、義務教育学校から高等学校への円滑な接続を図り、学びの連続性を重視した教育活動を推進するとともに地域と連携した教育活動のさらなる充実に努めていく必要があります。

湧別町教育委員会といたしましても、今後とも中高一貫教育の発展に全力で取り組んでまいりますので、各学校の教職員の皆様、保護者の皆様、そして、地域の皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げ、本研究集録発刊にあたっての挨拶といたします。

2 理念/規約/地域と4校の概要/ R7年度方針

理念・テーマ・柱（特色）・連携の概要

理念

地域の子どもは地域で育てる

～未来を拓く生徒一人ひとりの個性を伸ばし可能性を広げ、
オホーツクを担う人材を育成する～

テーマ

地域と密着・活気に満ちた教育

連携の柱

①「主体的・対話的な教科学習」

②「地域と連携した探究的活動」

| ①主体的・対話的な教科学習 | ②地域と連携した探究的活動 |
|---|---|
| <p>【説明】 義務教育学校後期課程・高校の6年間を主体的・対話的な授業形態に統一し、相互連携することでより深い学びを実現する。また、義務教育学校前期課程との連携体制の構築を図りながら、自分の考えを持ち相手に伝えるコミュニケーション能力、思考力、判断力を育み、大学入試の総合型選抜に対応できる優れた能力を身に付け、未来を拓く生きる力を身に付ける。</p> <p>◎湧別高校（主体的・対話的な学習） ↓ ↑ ◎義務教育学校 （学びの共同体・学びの山等）</p> | <p>【説明】 湧別町を舞台とした探究的活動を中高連携して行う。</p> <p>義務教育学校後期課程・高校の6年間で、湧別町の歴史・産業・自然・ポテンシャルを理解するとともに、地域と連携することで地域参画力や問題解決能力を身に付ける。</p> <p>◎湧別高校（未来計画） ↓ ↑ ◎義務教育学校（ゆうべつ学、地域学習等）</p> |

実践部会と事業

| 実践部会 | 事業 |
|-------------|--|
| 教育課程・学習指導部会 | <ul style="list-style-type: none"> ◎教科部会での主体的・対話的な学習を実現するための授業研究会、公開授業、先進地視察等 ◎義務教育学校前期課程も含めた各教科部会の在り方についての学推協事務局との連携・調整 ◎シラバスの作成 ◎総合型選抜入試に対応した教育活動 ◎英検取得の推進奨励、各種資格取得奨励 |
| 特別活動・生徒指導部会 | <ul style="list-style-type: none"> ◎部活動の相互交流、合同練習、技術向上事業 ◎生徒会リーダー研修会など義務教育学校・高校生交流事業 ◎湧別町出身者等による講演会 ◎キャリア教育の連携事業 |
| 総探部会 | <ul style="list-style-type: none"> ◎探究的活動について教員の情報交換と実践研究 ◎探究的活動の義務教育学校後期課程・高校の連携推進 ◎探究的活動の地域連携推進 ◎連携入試に向けた「ゆうべつ学」と「地域学習」の調整 |

湧別地区中高一貫教育推進委員会規約

(名称)

第 1 条 この会は湧別地区中高一貫教育推進委員会（以下「推進委員会」という。）と称する。

(組織)

第 2 条 推進委員会は、湧別町教育委員会、北海道湧別高等学校、上湧別学園、ゆうべつ学園、芭露学園をもって組織する。

(目的)

第 3 条 推進委員会は、中高一貫教育の推進事業に関わる連携を緊密にするとともに、本地区の中高一貫教育の円滑な運営を図ることを目的とする。

(事業)

第 4 条 推進委員会は、次の事業を遂行する。

1. 教育活動の推進・協力
2. 中高一貫教育の啓蒙活動
3. 会員の研修
4. その他必要と認めた事項

(会計)

第 5 条 推進委員会の活動に要する費用は、町からの収入等をもって充てる。

第 6 条 推進委員会の会計年度は、4月1日より翌年3月31日までとする。

(役員)

第 7 条 推進委員会に次の役員をおく。

1. 委員長 1名（教育長）
2. 副委員長 1名（義務教育学校長）
3. 監事 1名（教育委員会）
4. 委員 4名（各校校長・教育委員会）

第 8 条 役員は総会で選出し、任期を1年とする。ただし、再任は妨げない。

第 9 条 委員長は、推進委員会を代表し会務を管理する。副委員長は、委員長を補佐し委員長に事故ある時は、その職務を代理する。監事は、会計事務を監査する。

(協議会)

第 10 条 推進委員会に協議会を設け、委員長・副委員長・委員で構成し、委員長が必要と認めるとき招集する。

第 11 条 協議会は、総会の議決に基づき、委員長の指示を受け、次期総会までの間、委員長が特に必要と認めた事項について協議決定することができる。

(事務局)

第 12 条 推進委員会の活動を推進していくために事務局を湧別高等学校に設置し、次の局員をおく。

1. 事務局長 1名（高校教頭）
2. 事務局次長 4名（各義務教育学校教頭3名・教育委員会1名）
3. 事務局会計 1名（高校事務長）
4. 事務局員 4名（高校教諭1名・各義務教育学校3名）

第 13 条 事務局長は、定期的に事務局会議を開催する。また、必要に応じて、実践部会の各部会議を開催させることができる。

(実践部会)

第 14 条 推進委員会の円滑な活動を図るために次の実践部会を設け、事務局次長が部長を務める。

教育課程・学習指導

特別活動・生徒指導

総探

なお、各教科（養護・特別支援を含む）は教育課程・学習指導部会の下部組織とし、代表者を教科毎に選出する。

第 15 条 教育課程・学習指導部会長は必要に応じて、教科代表者会議を開催することができる。

また、各教科における義務教育学校前期課程との連携について、必要に応じて学推協事務局と連携を図る。

(入学者選抜連絡調整会議)

第 16 条 この会議は、連携型入学者選抜を円滑に行うために開催することができる。

第 17 条 この会議は、担当責任者が必要と認めた時に開催する。

(諮問機関)

第 18 条 協議会の諮問機関として推進支援会を置き、中高一貫教育に関して、意見を求めることができる。

第 19 条 推進支援会は、各学校の P T A 会長及び地域の支援者で構成し、委員長が委嘱する。

(総会)

第 20 条 総会は、定期総会を年に 1 回 4 月に開催する。臨時総会については、委員長が必要と認めた時に開催する。

第 21 条 総会に付議する事項は、次の通りとする。

1. 事業報告・決算に関すること

2. 事業計画・予算に関すること

3. 役員改選に関すること

4. 規約の改廃に関すること

5. その他、委員長が必要と認めた事項に関すること

第 22 条 総会の議事運営（議長・議事録）に関しては、事務局が担当する。

(委任)

第 23 条 推進委員長は、本会の会計事務を湧別高等学校長に委任する。

附則

この規約は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

この規約は、平成 17 年 6 月 7 日一部改正。

この規約は、平成 20 年 4 月 16 日一部改正。

この規約は、平成 22 年 4 月 15 日一部改正。

この規約は、平成 23 年 4 月 13 日一部改正。

この規約は、平成 24 年 4 月 12 日一部改正。

この規約は、平成 25 年 4 月 16 日一部改正。

この規約は、平成 30 年 4 月 19 日一部改正。

この規約は、令和 5 年 4 月 20 日一部改正。

この規約は、令和 6 年 4 月 24 日一部改正。

この規約は、令和 7 年 4 月 24 日一部改正。

令和7年度 湧別地区中高一貫教育活動方針

1 実践部会

(1) 教育課程・学習指導部会

- ア 各学年において全教科学年分のシラバスを作成し、有効活用を図る。
- イ 各教科部会において、部会の定期開催及び授業交流・相互乗り入れ授業を積極的に行う。
- ウ 授業交流において、各校の基礎基本の充実を図る取組を行う。
- エ つなぎ学習における乗り入れ授業が充実する取組を行う。
- オ 『中高一貫だより』は適宜集約及び発行を行う。
- カ 義務教育学校前期課程も含めた各教科部会の在り方について、学推協事務局と連携を図り、令和8年度以降の体制構築へ向けた調整を行う。また、令和7年度の各教科の状況をとりまとめ、令和8年度から各教科がある程度、共通の部会の持ち方ができるよう、令和7年度の合同反省会議で提案する。

(2) 特活・生徒指導部会

- ア 「あいさつ」を共通指導事項として継続する。
- イ リーダー研修会において、各学校の取組を交流することや、テーマに沿った議論を深めていくなどして、各校の生徒会活動の活性化を目指す。
- ウ 運動部に係るクリニックは、希望する部を優先させ、希望が重なった場合はローテーションを考慮して調整し、実施を決定する。
吹奏楽クリニックについては、各学校の吹奏楽顧問の協力を得ながら、各楽器や合奏などの技術向上を目指したクリニックを実施する。
- エ ボランティア活動については、各校の取組を充実させる。
- オ 合同講演会は、湧別や北海道にゆかりのある講師を中心に選定する。

(3) 総探部会

- ア 探究的活動の交流を検討する。(他校の探究活動の情報がわかるよう総探レポートを作成し交流する、7年生が湧別高校の未来計画報告会に参加する等。)
- イ 各校の探究的な活動において地域性、子どもの発達の段階や興味関心、学びの深まりに応じて各校ごとの「課題の設定」を総合的に考え判断していく。
- ウ 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする取り組みを計画する。
- エ 自分の暮らしや地域の問題を見つめ、思いや願いを膨らませ、自己選択や自己決定を繰り返して深く考え、多様な他者と協働して課題を解決する能力の育成を図る。
- オ 連携入試に向けた「ゆうべつ学」と「地域学習」の調整を図る場にする。

2 事務局担当事項

- (1) 推進委員会全体で、中高一貫教育の良さを再確認し、活動の改善や発展を目標とした検証を行う。
- (2) これまで取り組んできた活動内容や実情を振り返り、理念やテーマ、活動の柱(特色)の再確認ならびに再検討を行う。
- (3) 各実践部会が活動の見直しを円滑に行えるよう、計画的に見直しを計れるよう工夫する。
- (4) 中高一貫教育の取組について地域・保護者のより一層の理解促進を図る。

3 その他

- (1) 連携型入選の円滑な実施に向け、必要に応じて入選連絡調整会議を開催する。
- (2) 資格取得に向け、生徒の意欲的な取り組みがなされるよう働きかけを推進する。
- (3) 研究集録作成に向け、事務局を中心に各部会や各教科における記録集約等を行う。なお、研究集録は冊子による発行を行わず、PDFによりHPで公開する。

地域と4校の概要

1 地域の特徴

湧別町は平成21年10月5日、旧上湧別町と旧湧別町が合併し新しく誕生した人口約8,000人の町である。北海道東部網走支庁紋別郡に位置し、オホーツク海とサロマ湖に面しており畑作や酪農、漁業を基幹産業としている。湧別川がその源を天狗岳に発し、流路延長87kmに及び、町を貫流している。その下流域に広がる肥沃な恵みある大地では畑作が、山間や河口域では乳牛飼育による酪農が盛んである。

また、道内最大のサロマ湖ではホタテやカキが輪採制という独特の方法で養殖されており、「作り育てる漁業」を基本方針として全国的に高い評価を得ている。

気候はオホーツク海型気象地帯としての特徴をもち、気温は道内平均よりやや低く、日照時間が長く、雨が少ないことがあげられる。そのため、冬期間における降雪が大切な水源となっている。また、オホーツク沿岸に位置するため、町の東西に連なる丘陵地の影響を受け、朝夕の地上の風向がはっきり変わることがあげられる（海陸風）。その他、流氷が接岸（1月下旬から3月上旬）すると寒さも増し、一日の寒暖差が大きくなる。

春には街中にチューリップが彩り、毎年5月から6月にかけて行われるチューリップフェアには全国から10万人以上の観光客が訪れる。さらに、町では「人づくり」事業の一環で海外研修を展開しており、カナダ・ホワイトコート町、ニュージーランド・セルウィン町と友好都市締結をして留学生の交流を推進している。スポーツイベントも盛んで、6月にはサロマ湖を一周するサロマ湖100kmウルトラマラソン、2月には湧別原野オホーツククロスカントリースキー大会が開催されている。

2 各学校の概要

【湧別町立上湧別学園】

- (1) 学校名・校長名 湧別町立上湧別学園 校長 早川 大介
- (2) 所在地・電話番号 北海道紋別郡湧別町上湧別屯田市街地1番地の1
電話 (01586) 2-2095
- (3) 学級数・生徒数・教員数(後期課程のみ 令和8年3月現在)

| 学 年 | 7 | 8 | 9 | 特別支援 | 合 計 | |
|-------|----|----|----|------|-----|----|
| 学級数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 4 | |
| 生 徒 数 | 男 | 14 | 9 | 8 | 1 | 32 |
| | 女 | 12 | 14 | 9 | 3 | 38 |
| | 計 | 26 | 23 | 17 | 4 | 70 |
| 教職員数 | 17 | | | | | |

前身校である「上湧別中学校」は昭和41年9月、旧中隊本部・練兵場跡地に「統合上湧別中学校」として誕生した。平成16年、「与えられる空間から求める空間へ」というコンセプトのもと、オホーツク管内初の「教科教室型」の新校舎が完成。国語教室・数学教室・社会教室・理科教室・英語教室はオープンスペースという特徴を持ち、理数・国社・英語の各メディアセンター、音楽室・美術室・技術室・家庭科室という芸能教科教室は廊下からも活動の様子を見ることができた。各種講演会を開催することが可能な地域交流ホール（通称ランチルーム）は、地域にも開放された歴史がある。令和7年度に周辺小学校4校と併合し、義務教育学校「上湧別学園」として新たなスタートを切る。基本理念を「ふるさとを愛し、ともに学び高め合う子が育つ学園」とし、教育目標は「かんがえ学び合う子、みんなを大切にする子、ゆめや希望をもつ子、うんどうに親しむ子」の4点を掲げた。生徒は、「ゆうべつ学」による地域訪問や新篠津中学校とのオンライン交流、チューリップの球根植え等、地域に根差した教育活動や地元の文化を他へ広める学習を展開している。部活動は生徒の意欲も高く、中体連各種大会やコ

ンクールで活躍した。保護者は参観日や学校行事等、積極的に来校し、初年度を迎えるPTA活動においてもしっかりしたサポート体制がとられている。

【湧別町立ゆうべつ学園】

- (1) 学校名・校長名 湧別町立ゆうべつ学園 校長 若松 征一
 (2) 所在地・電話番号 北海道紋別郡湧別町錦町223番地
 電話(01586)5-2410
 (3) 学級数・生徒数・教員数(後期課程のみ 令和8年3月現在)

| 学 年 | 7 | 8 | 9 | 特別支援 | 合 計 |
|-------------|----|----|----|------|-----|
| 学級数 | 1 | 1 | 1 | 2 | 5 |
| 生 徒 数 | 男 | 9 | 10 | 5 | 26 |
| | 女 | 10 | 5 | 10 | 25 |
| | 計 | 21 | 15 | 15 | 51 |
| 教職員数 | 13 | | | | |

本校は、令和5年4月に開校し、現在5学級、生徒数51名の小規模校である。保護者の職業は漁業・農業関係が約半数を占め、共働き家庭は7割を超えている。一方で、家庭の教育に対する意識は高く、学校教育への期待も大きい状況にある。

本校では、学校教育目標「未来に向かい、心豊かにたくましく自立する生徒」の育成を掲げている。今年度は、「仲間と共に学びを創る子ども」が育つ学園づくりを重点とし、学びの活性化を意識した教育活動の充実に取り組んだ。学習面では、グループを基盤とした学び合いの充実や、放課後時間を活用した学習支援を進めている。また、特別活動においては、生徒の主体性を生かした行事の工夫をはじめ、地域行事への参加、各種ボランティア活動、ニュージーランドとの交流事業などを積極的に推進している。

学園の開校と同時に、9年間を見通した教育活動を展開し、全教職員が「15歳の目指す生徒像」を共有しながら指導に当たっている。

生徒は、幼少期から同じ仲間と共に成長してきたことから、互いを理解し合い、思いやる心が育っている。明るく活発で挨拶も行き届いており、学校行事や部活動にも前向きに取り組む姿が見られる。保護者や地域の協力体制も厚く、「地域と共に歩む学校」として、子どもたちを育てる取組を継続して推進している。

【湧別町立芭露学園】

- (1) 学校名・校長名 湧別町立芭露学園 校長 川上 智広
 (2) 所在地・電話番号 北海道紋別郡湧別町芭露411番地
 電話(01586)6-2463
 (3) 学級数・生徒数・教員数(後期課程のみ 令和8年3月現在)

| 学 年 | 7 | 8 | 9 | 特別支援 | 合 計 |
|-------------|---|---|---|------|-----|
| 学級数 | 1 | | 1 | 2 | 4 |
| 生 徒 数 | 男 | 1 | 1 | 3 | 7 |
| | 女 | 1 | 1 | 0 | 2 |
| | 計 | 2 | 2 | 3 | 2 |
| 教職員数 | 8 | | | | |

本校は、昭和38年4月に創設され、その後、昭和44年までに芭露、上芭露、東芭露、西芭露、志撫子、計呂地の6地区が全て統合された湖陵中学校と校区にあった芭露小学校とが統合し、平成30年4月に北海道で4番目となる義務教育学校「芭露学園」として開校した。

校区は酪農を中心とする農業とホタテ・カキ養殖を中心とした漁業を営み、三世代が

同居する家庭が多く、住民同士の人間関係が緊密である。また、保護者や地域住民の学校に対する関心が高く、教育活動に対して協力的である。

本校では、平成30年度より義務教育学校としてスタートしたことから、9年間の一貫教育の教科指導や生活指導、学校行事を通して、教職員がそれぞれの役割と責任を果たし、前期課程・後期課程の良さを生かしつつ、「15歳の春」を見据え、9年間をしっかりとつないでいくことを目標としている。

また、本校では義務教育学校の特徴を生かし、前期課程児童と優しく係わる中で身に付く「人間性」、1年生から9年生までが同時に楽しんで取り組める行事の企画や運営などから生まれる「創造性」、義務教育学校として他校にはない取組から生まれる自分自身や学校への「誇り」と様々な面で大きな成長をしている。

義務教育学校（小中一貫教育）で、さらに中高一貫教育を行っている学校を有する町は北海道の中で湧別町が唯一である。今後も義務教育の9年間だけではなく、高校まで含めた12年間を見通した教育について検討していきたい。

【北海道湧別高等学校】

- (1) 学校名・校長名 北海道湧別高等学校 校長 今野博友
(2) 所在地・電話番号 北海道紋別郡湧別町中湧別南町846番地2
電話(01586)2-2419
(3) 学級数・生徒数・教員数(令和8年3月現在)

| 学年 | 1 | 2 | 3 | 合計 | |
|------|----|----|----|----|----|
| 学級数 | 1 | 1 | 1 | 3 | |
| 生徒数 | 男 | 19 | 16 | 16 | 51 |
| | 女 | 16 | 12 | 19 | 47 |
| | 計 | 35 | 28 | 35 | 98 |
| 教職員数 | 13 | | | | |

昭和28年4月、「地域の子どもの教育は地域の学校で」との強い願いから、当時の上湧別村と下湧別村による組合立の学校として全日制課程普通科3学級の学校として発足、令和5年11月には創立70周年を迎えた。このような開校の経緯から、地域住民には「我が町の高校」との意識が強く、本校の教育活動に対して極めて協力的である。また、本校への入学生の約9割が町内3義務教育学校からの生徒であり、保護者同士の人間関係が非常に緊密である。

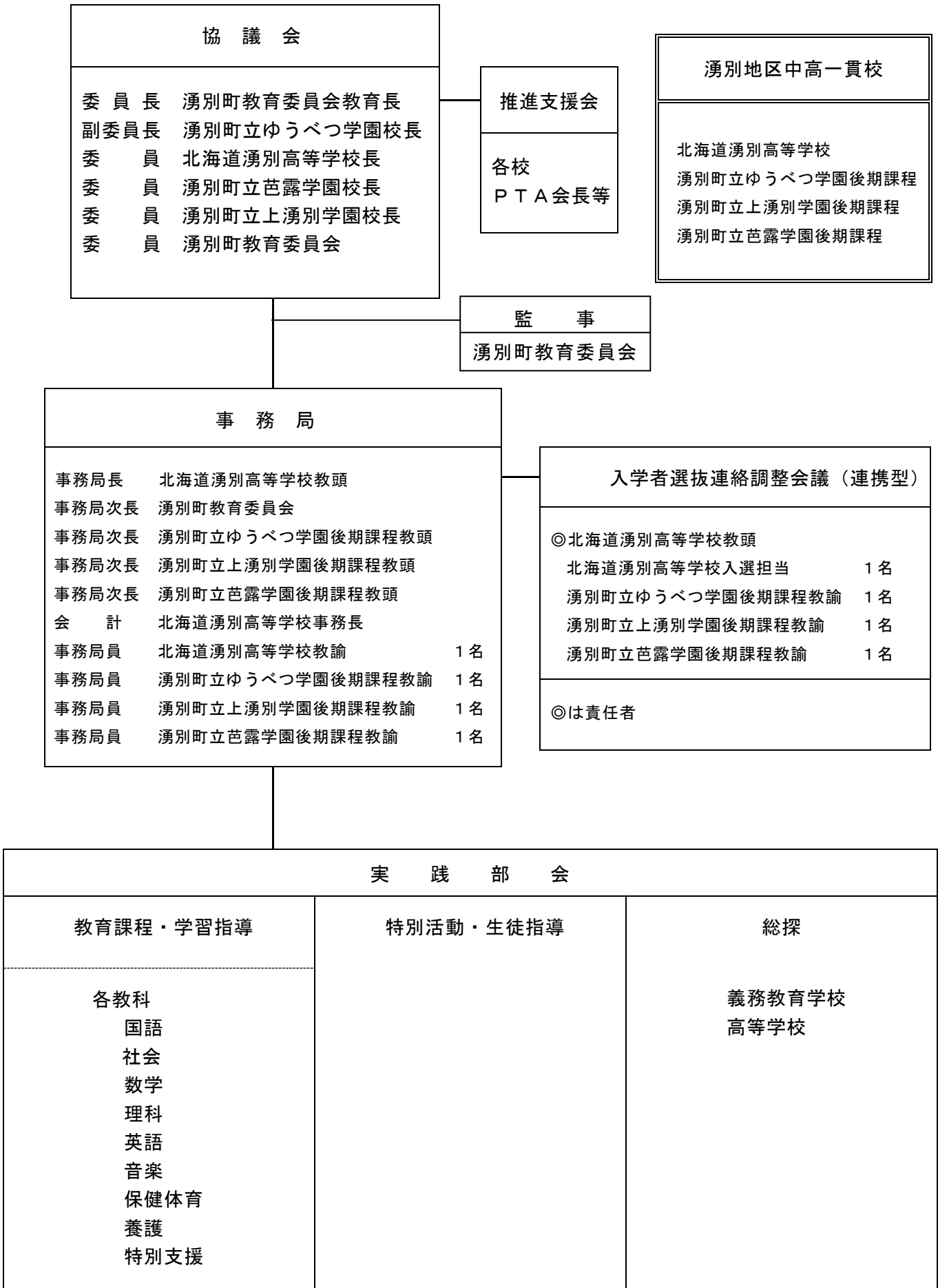
本校では生徒個々に即した学習体制を編成しており、習熟度別学習や多様な選択科目の設置による少人数教育を行っている。また進路指導においては、自己理解の深化、面接指導、長期休業中の進学講習、資格取得のための特別指導体制も組んでいる。また、総合的な探究の時間においては自らの興味、関心に従い課題を見つけ、課題解決のための力、試行錯誤する過程でPBL（問題解決型学習）を体験し課題を解決する力、自身の課題を地域と結び付け、地域への繋がりを強めることを目的とした「未来計画」を実施している（個人の課題を中心として考え、個々の興味関心に基づいた活動）。

生徒は、地域柄を反映して明るく純朴であり、活動意欲が旺盛で教師との信頼関係も強い。部活動にも9割以上の生徒が加入しており、意欲的に活動しているほか、ボランティア活動にも熱心であり、災害復興のための募金活動やスリランカに井戸を贈る募金活動、サロマ湖100キロマラソンやクロスカントリースキー大会などの町内のイベントの運営補助など、進んで活動に取り組んでいる。

令和5年度より、全国募集を開始し、地域コーディネーターの配置、公設塾の開設（令和7年10月）、学生寮の設置（令和8年4月）等、湧別町からの支援と協力のもと、高校の魅力化に取り組んでいる。

3 組織一覽

湧別地区中高一貫教育推進委員会組織図



令和7年度 中高一貫教育推進委員会

| | | 教育委員会 | 上湧別学園 | ゆうべつ学園 | 芭露学園 | 湧別高等学校 | |
|-----------------|-----------------|-------------------------|----------------|-----------------|----------------|------------------------------------|---------------|
| 推進協議会 | | ◎阿部 勉 佐藤 美貴 綾部 雅一 | ○早川 大介 | 若松 征一 | 川上 智広 | 今野 博友 | |
| 推進事務局 | | 佐藤 美貴 佐藤 凌也 可児 幹博 | 伊藤 俊哉 松尾 広樹 | 豊原 隆之 小出 拓哉 | 坂田 直繁 阿部 努 | ◎相澤 英樹 澤 龍一 会計 陶山 仁 (事務長) | |
| 会 | 教育課程・ 学習指導部会 | | 花田 和也 | ◎豊原 隆之 | 三上真希子 | 澤 龍一 鎌田 瑠奈 | |
| | 各 教 科 | 国 語 | | 花田 和也 | 斎藤 帆貴 | 三河 修一 | ◎對馬 李玖 |
| | | 社 会 (地歴公民) | | 豊田 修司 | ◎前田 剛志 | 藤井 陽平 | 佐藤 和憲 |
| | | 数 学 | | 南部 寛 岩佐 咲子 | 大東 翔 | 三上真希子 | ◎小澤 力 穴口 透 |
| | | 理 科 | | 松尾 広樹 | 小出 拓哉 高橋 由耶 | 阿部 努 | ◎熊谷 拓也 |
| | | 英 語 | | 柳川 智紀 | ◎神山 利彦 | 佐藤 優好 | 澤 龍一 |
| | | 保健体育 | | 和田あゆ美 | 森本あやめ | 木津 健斗 | ◎小堀 大輔 |
| | | 音 楽 | | 岡島 諒育 | 高橋 典子 | | 岩本 莉奈 |
| | | 養 護 | | 二峰明日香 | 野澤亜希子 | 森 こずえ | ◎寺西 貴子 |
| | | 特別支援 | | ◎奈良 朋美 | 山口 拓海 村橋 歩 | 佐藤 優成 | 寺西 貴子 小澤 力 |
| | その他 | | 高山 修一 阿部 翔太 | | | 鎌田 瑠奈 古賀 悠祐 | |
| 特別活動・ 生徒指導部会 | | 和田あゆ美 柳川 智紀 | 山口 拓海 神山 利彦 | ◎坂田 直繁 三河 修一 | 佐藤 和憲 鎌田 瑠奈 | | |
| 総探部会 | | ◎伊藤 俊哉 岩佐 咲子 | 高橋 典子 | 佐藤 優好 | 澤 龍一 | | |
| 入学者連絡調整委員会 | | 高山 修一 | 高橋 典子 | 佐藤 優好 | ◎相澤 英樹 澤 龍一 | | |

推進委員会の◎は委員長、○は副委員長
分掌部会、教科部会、総探部会の◎は部長

推進事務局の◎は事務局長、○は事務局次長

※音楽部会長校：総会で決定

4 推進事務局活動記録

令和7年度活動記録一覧

| 月日 | 取組 | 担当部(教科) | 会場等 |
|----------|---------------------|-------------|------------|
| R7.4.4 | 第1回事務局事前会議 | 事務局 | 書面開催 |
| R7.4.10 | 第1回事務局会議 | 事務局 | 湧別高校 |
| R7.4.15 | 第1回推進協議会 | 事務局 | さざ波 |
| R7.4.24 | 中高一貫教育推進委員会総会 | 事務局 | さざ波 |
| R7.5.9 | 第2回事務局事前会議 | 事務局 | 各学校(ZOOM) |
| R7.5.14 | 未来計画(探究サポーター) | 湧別高校 | 湧別高校 |
| R7.5.16 | 第2回事務局会議 | 事務局 | 各学校(ZOOM) |
| R7.5.31 | 第1回実用英語技能検定(中学生) | 英語 | 湧別高校 |
| R7.6.4 | 未来計画(探究サポーター) | 湧別高校 | 湧別高校 |
| R7.6.7 | 第1回実用数学技能検定(中学生) | 数学 | 湧別高校 |
| R7.6.11 | 第3回事務局事前会議 | 事務局 | 各学校(ZOOM) |
| R7.6.13 | 第1回総探部会 会議 | 総探部会 | 各学校(ZOOM) |
| R7.6.13 | 第1回日本漢字能力検定(中学生) | 国語 | 湧別高校 |
| R7.6.16 | 中高合同部活動クリニック(吹奏楽部) | 特別活動・生徒指導部会 | 湧別高校 |
| R7.6.17 | 中高合同部活動クリニック(吹奏楽部) | 特別活動・生徒指導部会 | 湧別高校 |
| R7.6.18 | 未来計画(探究サポーター) | 湧別高校 | 湧別高校 |
| R7.6.18 | 第3回事務局会議 | 事務局 | 各学校(ZOOM) |
| R7.7.5 | 合唱コンクール審査 | 音楽 | 文化センターTOM |
| R7.7.10 | 第4回事務局事前会議 | 事務局 | 各学校(ZOOM) |
| R7.7.16 | 未来計画中間報告会 | 湧別高校 | 湧別高校 |
| R7.7.17 | 第4回事務局会議 | 事務局 | 各学校(ZOOM) |
| R7.7.19 | 中高合同部活動クリニック(吹奏楽部) | 特別活動・生徒指導部会 | 文化センターさざ波 |
| R7.7.25 | 中高合同部活動クリニック(吹奏楽部) | 特別活動・生徒指導部会 | 湧別高校 |
| R7.7.29 | 中高合同部活動クリニック(吹奏楽部) | 特別活動・生徒指導部会 | 湧別高校 |
| R7.8.27 | 第2回総探部会 会議 | 総探部会 | 各学校(ZOOM) |
| R7.9.10 | 未来計画(探究サポーター) | 湧別高校 | 湧別高校 |
| R7.9.13 | 中学生体験入学(中3生対象) | 湧別高校 | 湧別高校 |
| R7.9.13 | 理科部会(乗り入れ授業) | 理科 | 湧別高校 |
| R7.9.26 | 養護部会 | 養護 | 湧別高校 |
| R7.10.2 | 第5回事務局事前会議 | 事務局 | 各学校(ZOOM) |
| R7.10.4 | 第2回実用英語技能検定(中学生) | 英語 | 湧別高校 |
| R7.10.6 | 自然体験学習(理科部会) | 理科 | 旧遠軽小学校跡崖付近 |
| R7.10.7 | 中高一貫教育合同講演会 | 特別活動・生徒指導部会 | 文化センターTOM |
| R7.10.8 | 未来計画(探究サポーター) | 湧別高校 | 湧別高校 |
| R7.10.10 | 第5回事務局会議 | 事務局 | 各学校(ZOOM) |
| R7.10.11 | 第2回実用数学技能検定(中学生) | 数学 | 湧別高校 |
| R7.10.17 | 養護部会 | 養護 | 湧別高校 |
| R7.10.28 | 第3回総探部会 会議 | 総探部会 | 各学校(ZOOM) |
| R7.11.7 | 第2回日本漢字能力検定(中学生) | 国語 | 湧別高校 |
| R7.11.8 | 中高合同部活動クリニック(運動部) | 特別活動・生徒指導部会 | 湧別高校 |
| R7.11.11 | 第6回事務局事前会議 | 事務局 | 各学校(ZOOM) |
| R7.11.14 | 中高一貫だより86(合同講演会)発行 | 教育課程部会 | 各学校 |
| R7.11.19 | 第6回事務局会議 | 事務局 | 各学校(ZOOM) |
| R7.11.23 | 中高一貫だより87(部活動クリニック) | 教育課程部会 | 各学校 |
| R7.12.3 | 入学者選抜調整会議 | 湧別高校 | 湧別高校 |
| R7.12.9 | 第7回事務局事前会議 | 事務局 | 各学校(ZOOM) |
| R7.12.16 | 第7回事務局会議 | 事務局 | 各学校(ZOOM) |
| R7.12.18 | 中学生体験入学(中2生対象) | 湧別高校 | 湧別高校 |
| R7.12.18 | 未来計画活動報告会 | 湧別高校 | 湧別高校 |
| R7.12.25 | Canva研修会 | 教育課程部会 | ゆうべつ学園 |
| R7.12.26 | Canva研修会 | 教育課程部会 | ゆうべつ学園 |
| R8.1.13 | 養護部会 | 養護 | 上湧別学園 |
| R8.1.20 | 第4回総探部会 会議 | 総探部会 | 各学校(ZOOM) |
| R8.1.21 | 第8回事務局会議事前会議 | 事務局 | 各学校等(ZOOM) |
| R8.1.23 | 第3回日本漢字能力検定(中学生) | 国語 | 湧別高校 |
| R8.1.24 | 第3回実用英語技能検定(中学生) | 英語 | 湧別高校 |
| R8.1.27 | 養護部会 | 養護 | 湧別高校 |
| R8.1.27 | 第8回事務局会議 | 事務局 | 湧別高校 |
| R8.2.4 | 第5回総探部会 会議 | 総探部会 | 各学校(ZOOM) |
| R8.2.6 | 公開授業(英語部会) | 英語 | 湧別高校 |
| R8.2.11 | 中高一貫リーダー研修会 | 特別活動・生徒指導部会 | 湧別高校(中止) |
| R8.2.14 | 第3回実用数学技能検定(中学生) | 数学 | 湧別高校 |
| R8.2.16 | 中高一貫合同反省会 | 事務局 | 文化センターさざ波 |
| R8.2.25 | つなぎ学習 | 国語・数学・英語 | 各学校(ZOOM) |
| R8.3.10 | 第9回事務局会議事前会議 | 事務局 | 各学校等(ZOOM) |
| R8.3.17 | 第9回事務局会議 | 事務局 | 湧別高校 |

令和7年度 第1回湧別地区中高一貫教育推進事務局会議 議事録

日時 令和7年4月10日(木) 10:00～

場所 湧別高校会議室

➤ 司会は、上湧別学園 → 芭露学園 → ゆうべつ学園(豊原教頭)の輪番
議題

1 令和7年度中高一貫合同総会へ向けて

(1) 日時及び会場：令和7年4月24日(木) 14:00 さざ波

(2) 当日の流れの確認。

【確認事項】

- ・台本(3) 活動報告についてはQRコードから閲覧可能
- ・台本(2) 中高一貫と学推協の教科部会のあり方について
→中高一貫から学推協にアプローチしていく。(学推協側に正式に要請はしていない。
今後学推協の会議(5/1)で出した意見をもとに勧めていく
- ・すぐに統合という形にはならない(R6合同反省会後の推進委)。
- ・台本(2) 文言「この後、教育課程・学習指導部会から説明がありますが、」:カット
→学推協の会議がまだ総会段階で行われていないため、現時点で説明できる事項がないことが理由
- ・今後の動きについては、教育課程・学習指導部会長(豊原教頭)と学推協の事務局が中心となり、調整していく。(※文言には加えない)
- ・台本(2) 学推協との教科の連携について調整を重ねる予定。→変更が必要? («模索していく」など)
- ・台本(8) 令和8年度以降の中高一貫教育について、教育委員会より説明
→合同反省会にて話した連携入試について
- ・予算案 STC部会→削除 職場体験実習に～→削除 講師・謝礼の旅費等→追加

【質問】

- ・現在の7年生の連携入試の形式について、この総会で明らかになるのか、またそうではない場合、いつ頃判明するか。
→道教委「現在検討中」。町教委から改めて確認をとり、分かった段階で周知予定

2 令和7年度合同反省会議の日程について

- ・(案) 令和8年2月18日(水) 14:00～ TOM
→私立高校受験(B日程)が被っているため、16日(月)に変更の方向。
→第二希望「さざ波」、難しければ「いずれかの学校の体育館」

【意見】 スクールカレンダーを作成するため、前年度中に案を提示して頂きたい→了承

3 各部会から

- (1) 教育課程部会
- (2) 生徒指導部会
- (3) 総探部会

4 その他

【意見】

- ・中高一貫と学推協について、連携のとりやすさから組織のあり方の検討が必要?
→連携のスムーズさ・教員負担・運営の目的の観点から組織改編について協議が必要。
- ・活動報告QRコードからうまくPDFデータにアクセスできない。
→長押しして「リンク先のファイルをダウンロード」で解決可能。
レジュメ記載のQRコードの下に手順について記載する。(湧別高校対応)

<令和7年度第1回事務局会議の日時設定について>

5月16日(金) 10:00～ 湧別高校会議室又は ZOOM

令和7年度 第2回湧別地区中高一貫教育推進事務局会議 議事録

日時 令和7年5月16日(金) 10:00～

場所 各所属先(遠隔実施 ZOOM)

➤ 司会は、上湧別学園(伊藤教頭→ 芭露学園(坂田教頭) → ゆうべつ学園(豊原教頭)の輪番

議題

1 シラバスについて

- ・例年通りの手順で作成予定

2 令和8年度中高一貫教育連携入試に係る特例申請について

- ・昨年は6月14日に送付
- ・今年度は、シラバスができあがり次第送付予定

3 令和7年度中高一貫教育推進委員名簿の訂正について

- ・音楽 湧別高校、岩本教諭に◎
- ・その他 上湧別学園、阿部教諭に◎
- ・その他部会の名称については後日協議予定

4 令和7年度8月～12月の諸会議の日程調整について

- ・調査票添付済み

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">●提出期限：6月12日(木)●提出先：湧別高校教頭 相澤 英樹※調査票をメールで送付してください。 |
|---|

- ・調査票をもとに、次回の会議にて調整予定

5 各部会から

(1) 教育課程部会

- ・シラバスの作成及び研修会を開催予定
- ・後日、教育課程部会の実施を予定

(2) 生徒指導部会

- ・合同講演会にむけて予算の調整

(3) 総探部会

- ・6月13日(金)14:30～第1回総探部会をzoomにて実施予定
- ・事務局：当日にzoomの予約

6 その他

- ・会計からの連絡事項について（zip 添付データあり）

（教育委員会より）

前期課程：教育委員会の経費から執行・請求が町教委にいくため、家庭からの支出×

後期課程：中高一貫の経費・家庭から一旦支出、年度末に補助額が戻る。

- ・前期課程については教育委員会から通知（→学校教育に確認）

- ・後期課程については湧別高校から案内の配布物

【意見】前期・後期課程共通のやり方で行った方がよいのではないか。

→意見として受諾。しかし支出の方法が違うため難しい。（町教委）

【意見】後期+高校の分を高校が一括で集約するシステムがあればよいのでは。

→会場校が湧別高校以外で行う検定もあり、義務教育学校の生徒の出欠が把握しきれないパターンが考えられるため、従来の方法で検討したい。（湧別高校）

- ・会議日程の確認について

令和6年度 第8回事務局会議からの資料

令和7年度4～7月の諸会議日程（予定）について（5月以降のみ）

・~~6月11日(水)10:00 事務局事前会議(ZOOM)~~

・~~6月18日(水)10:00 第3回事務局会議~~

- ・7月10日(木)10:00 事務局事前会議(ZOOM)

- ・7月17日(木)10:00 第4-3回事務局会議

※昨年度実績は6月25日 事務局事前会議 7月9日 第3回事務局会議 実施

<次回事前会議・事務局会議の日時設定について>

7月10日（木） 10：00～ 各所属先（遠隔実施 ZOOM） 事前会議

7月17日（木） 10：00～ 各所属先（遠隔実施 ZOOM） 事務局会議

令和7年度 第3回湧別地区中高一貫教育推進事務局会議 議事録

日時 令和7年7月17日(木) 10:00～

場所 各所属先(遠隔実施 Zoom)

➤ 司会は、上湧別中(伊藤教頭) → 芭露学園(坂田教頭) → ゆうべつ学園(豊原教頭)の輪番

議題

1 令和7年度8月～12月の諸会議(案)について

| 日 | 時間 | 会議 |
|-----------|--------|------------|
| 8月26日(火) | 10:00～ | 第4回事務局事前会議 |
| 9月2日(火) | 10:00～ | 第4回事務局会議 |
| 10月2日(木) | 10:00～ | 第5回事務局事前会議 |
| 10月10日(金) | 10:00～ | 第5回事務局会議 |
| 11月11日(火) | 10:00～ | 第6回事務局事前会議 |
| 11月19日(水) | 10:00～ | 第6回事務局会議 |
| 12月9日(火) | 10:00～ | 第7回事務局事前会議 |
| 12月16日(火) | 10:00～ | 第7回事務局会議 |

2 各部会から

- (1) 教育課程部会
 - ・今年度の研修会の内容について休み明けから検討予定
 - ・ICTに関する研修を検討(予算:20万程度)
- (2) 生徒指導部会
 - ・11月8日(土)午前 スポーツのクリニックを開催予定
 - ・夏休み明けに詳細について連絡予定
- (3) 総探部会
 - ・zoomでの第1回総探部会 済
 - ・職場体験実習については、ゆう学・芭露学園で実施予定。
 - ・フィールドワークの旅費は総探部会の予算から支出可能(4万円弱の予算)。
 - ・夏休み明けに第2回総探部会実施予定
- (4) 養護部会
 - 第1回 9月26日(金) 湧別高校(保健室)
 - 第2回 1月27日(火) 湧別高校(保健室)

3 その他

- ・令和8年度中高一貫教育連携入試に係る特例申請について(6/13局に提出済み)
- ・本校全国募集の取組について
- ・9年生向け本校体験入学(9月12日)について
- ・8年生向け本校体験入学 12月17日(水) → 12月18日(木) 午後に変更予定
→ 芭露学園生徒 15:00 湧別高校出発予定

<次回事務局会議の日時設定について>

9月2日(火) 10:00～ 各所属先(遠隔実施 Zoom)

令和7年度 第4回湧別地区中高一貫教育推進事務局会議 議事録

日時 令和7年9月2日(火) 10:00～

場所 各所属先【ZOOMによる遠隔開催】

➤ 司会は、上湧別学園(伊藤教頭) → 芭露学園(坂田教頭) → ゆうべつ学園(豊原教頭)の輪番

議題

1 体験入学について

- ・別添資料のとおり、各学校へ文書送付済み。
- ・高校への報告は9月3日(水)まで。

2 令和7年度中高一貫合同反省会議について

- ・令和8年2月16日(月) 14:00～15:30(未決定)(昨年度と同様日)
※会議後、町教委に確認済 令和8年2月16日(月) 14:00～15:30【決定】
- ・文化センターさざ波(多目的ホール他)

3 ZOOMアカウントについて

- ・使用希望がある場合は、事務局へ連絡ください。
(中高・学推協でアカウント所持)

4 各部会から

(1) 教育課程部会

- ・感想を集約して、教育課程部会便り発行予定
- ・ICT研修についても調整中

(2) 生徒指導部会

- ・10月7日合同講演会の実施についてメール済
- ・各学校の担当生徒が決定したら事務局へ報告

(3) 総探部会

- ・8月末に部会実施 職場体験学習及び探究学習についての交流
- ・年度末に総探部会便り 各校の探究について報告
- ・各学校の探究の目指すところについて協議

5 その他

- ・中高一貫の外部試験の受験について(数検・英検・漢検など)
文字化け・zipファイル解凍不良などトラブル有。各学校・町教委連携して対処
→(上学)PDFデータでの送付は可能か。
→(湧高)書式の統一など制限があるため、再度上湧別学園にcsvデータ送付
解決できない場合は、別途協議。

<次回事務局会議の日時設定について>

10月10日(金) 10:00～ ZOOMによる遠隔開催

- ・10日会議 豊原教頭欠席予定
- ・2日事前会議 伊藤教頭欠席予定

令和7年度 第5回湧別地区中高一貫教育推進事務局会議 議事録

日時 令和7年10月10日(金) 10:00～

場所 各所属先【ZOOMによる遠隔開催】

➤ 司会は、上湧別中(伊藤教頭)→**芭露学園(坂田教頭)**→ゆうべつ学園(豊原教頭)の輪番

議題

1 湧別高校体験入学(中2生向け)の実施について(事前周知)

- ・12月18日(木)12:45～受付、～14:55解散で準備中。
- ・詳細決定次第、案内文送付予定。

2 入学者選抜調整会議の開催について(事前周知)

- ・12月3日(水)10:00 湧別高校会議室で準備中。
各学校で持ち帰り相談。次回の会議で決定(予定)
- ・中学校のオンライン入力開始(12月5日(金))前に実施。

3 各部会から

(1) 教育課程部会

- ・合同講演会についての通信を作成：各学校1名選出：字数300～350字

(2) 生徒指導部会

- ・10/7(火)中高合同講演会
- ・11/8(土)部活動クリニック 湧別高校体育館で実施

(3) 総探部会

- ・第3回総探部会10/28実施予定

4 その他

- ・町外、道外からの体験入学参加者(昨年度3名)

| | | | |
|-------|------|--------|-------------|
| 8月20日 | 東京都 | 中学校3年生 | 女子1名 |
| 8月27日 | 岐阜県 | 中学校3年生 | 男子1名 |
| 9月12日 | 中標津町 | 中学校3年生 | 女子1名(体験入学日) |
| | 札幌市 | 中学校3年生 | 男子1名(//) |
| | 標津町 | 中学校3年生 | 男子1名(//) |
| | 石狩市 | 中学校3年生 | 男子1名(//) |
| 9月22日 | 長野県 | 中学校3年生 | 女子1名 |
| 9月29日 | 横浜市 | 中学校2年生 | 男子1名 |
| 10月3日 | 横浜市 | 中学校3年生 | 男子1名 |
| 調整中 | 東京都 | 中学校3年生 | 男子1名 |
| | 東京都 | 中学校3年生 | 女子1名 |
| | 札幌市 | 中学校3年生 | 男子1名 |
| | 千葉県 | 中学校2年生 | 女子1名 |
| | 兵庫県 | 中学校3年生 | 女子1名 |

現時点 14名

- ・公営塾について(10/1(水)開塾式実施)

運営内容：貼付資料参照

- ・中高一貫講演会の旅費 10月末までに湧別高校に申請(湧別高校陶山事務長)
- ・中高の連携について 令和10年度入試以降の連携入試について(上湧別学園伊藤教頭)
現在の7年生以降の入試の扱いについて、現在道教委で協議中：校長に通知済
今度の見通しについて通知を確認・再度町教委→各学校へ通知を送付予定。

<次回事務局事前会議・事務局会議の日時設定について>

第6回事務局事前会議 11月11日(火) 10:00～ ZOOMによる遠隔開催

*第6回事務局会議 11月19日(水) 10:00～ ZOOMによる遠隔開催

令和7年度 第6回湧別地区中高一貫教育推進事務局会議 議事録

日時 令和7年11月19日(水) 10:00～

場所 各学校【ZOOMによる遠隔開催】

➤ 司会は、上湧別中(伊藤教頭)→芭露学園(坂田教頭)→**ゆうべつ学園(豊原教頭)**の輪番

議題

1 令和7年度1～3月、令和8年度4～7月中高一貫諸会議等の日程調整について(依頼済み)

- ・令和7年度1～3月:11月28日ㄨ 12月事務局会議で提案予定
- ・令和8年度4～7月:12月19日ㄨ 1月事務局会議で提案予定

2 中学生体験入学(中3生対象)アンケート結果について

- ・別紙参照

3 中学生体験入学(中2生対象)の実施について

- ・別紙参照
- ・先日の案内の補足する形で説明。

4 各部会から

(1) 教育課程部会

ICT研修会について(Canvaの研修) 12/25:基本編 12/26:応用編(予定)

- ・講師二名来校予定・旅費、交通費含め計12万円の予算執行を予定。
- ・AIについても研修の内容として扱うことが可能。今後相談。

▶(芭露学園)25日は授業日(+職員会議)

:25日14:30~16:30、26日午前午後で調整・芭露学園の職員会議の日程を変更
25日午前中は、各学校を回り意見交流を予定

中高一貫だより:部活動クリニックについての記事を作成中。

(2) 生徒指導部会

- ・8日(土)部活動クリニック実施 来年度の継続について協議中
- ・リーダー研修会実施にむけて調整

(3) 総探部会

- ・3義務教育学校+湧別高校通して育成する資質能力に関する目標を作成中
▶湧別高校分を作成後送付
- ・1月の中間に総探部会実施予定
- ・総探だより:年明けに発行予定

5 その他

- ・入学者選抜調整会議 12/3(水)10:00～ 本校会議 (管理職・入選担当者)
▶道外3中学校から受検に関する問い合わせあり
- ・中高一貫リーダー研修会について(ゆうべつ学園担当)
▶1/31(土)芭露スケート大会:芭露後期課程生徒参加予定
2/11(水)第一希望 2/1(日)第二希望 ゆう学へ明日まで参加可否報告
- ・(町教委)R10年度以降の入試について
有識者会議をふまえ、12月に道教委で検討。3月までに決定予定
担当者)R10は連携入試継続の方向で提案予定

<次回事務局会議の日時設定について>

事務局事前会議 12月9日(火) 10:00～ ZOOMによる遠隔開催

事務局会議 12月17日(火) 10:00～ ZOOMによる遠隔開催

令和7年度 第7回湧別地区中高一貫教育推進事務局会議 議事録

日時 令和7年12月16日(火) 10:00～

※豊原教頭(ゆう学)・坂田教頭(芭学)・佐藤美貴課長(教育委員会)欠席

場所 各学校【ZOOMによる遠隔開催】

➤ 司会は、上湧別中(伊藤教頭)→芭露学園(坂田教頭)→ゆうべつ学園(豊原教頭)の輪番

議題

1 令和7年度1～3月の日程について

- ・1月21日(水) 10:00 事務局事前会議
- ・1月27日(火) 10:00 第8回事務局会議
- ・3月10日(火) 10:00 事務局事前会議
- ・3月16日(月) 10:00 第9回事務局会議

2 つなぎ学習の実施について

- ・対象 連携型入学者選抜において本校に合格内定となった者
- ・予定日時 2月25日(水) 9:25～10:15 数学
10:25～11:15 英語
11:25～12:15 国語
- ・実施方法 ZOOMによる遠隔実施
- ・その他 参加対象者へ事前にテキスト配付の上、予習範囲を周知
終了後、参加対象者へアンケート実施

3 合同反省会(2月16日実施)へ向けて

合同反省会議 2月16日 さざ波 14:00～15:30 ※さざ波予約済(教育委員会)
後日湧高→各学校教頭へデータ送付(以前送ったものの改良版・アンケート枠)
→旧版は破棄して大丈夫です。

- ・反省アンケートの提出について
提出期限:令和8年2月5日(木)
- ・実践部会について(昨年度変更)
例年、教科部会後に実施していたが、当日は実施しない。
各実践部会において、書面又はZOOMで実施する。

4 研究集録へ向けて

- ・原稿提出期限:令和8年2月26日(木)
- ・合同反省会議後の作成になりますが、データを事前送付します。
作成者:各部会長 → 各校教頭が取りまとめて事務局へデータ送付
今年度よりPDF化、本校HPに掲載

5 各部会から

- (1) 教育課程部会
- (2) 生徒指導部会
- (3) 総探部会 1月20日(火) 14:00～Zoomにて会議 湧高:Zoomの予約

6 その他

- ・その他部会の名称変更について

<次回事前会議・事務局会議の日時設定について>

1月21日(水) 10:00～ ZOOMによる遠隔開催(事前会議)

1月27日(火) 10:00～ ZOOMによる遠隔開催

令和7年度 第8回湧別地区中高一貫教育推進事務局会議 議事録

日時 令和8年1月27日(火) 10:00～

場所 各所属先

➤ 司会は、上湧別学園(伊藤教頭) → **芭露学園(坂田教頭)** → ゆうべつ学園(豊原教頭)の輪番

議題

1 令和7年度合同反省会議について(2月16日(月)14:00)

(1) 令和9年度以降の連携型入学者選抜の特例実施について

- ・今後、湧別高校と義務教育学校の連携は継続。
- ・令和9・10年度は現在と同じ特例で実施。

→町教委より合同反省会議にて説明

→12月に道教委の会議は終了済。その後の見通しについて道教委より連絡があれば、その内容も含めて連絡する。

(2) 反省アンケートの提出について(再掲)

提出期限：令和8年2月5日(木)

2 研究集録へ向けて(再掲)

- ・原稿提出期限：令和8年2月26日(木)
- ・PDFデータ掲載場所(案)：湧別高校HP、湧別町教育委員会HP

3 令和8年度体験入学(9年生向け)について

- ・全国募集に係る学校説明会の関係から、早期に日程を周知する必要あり。※生徒・保護者の日程確保、飛行機・宿泊手配等
- ・現時点での説明会予定は、以下のとおり。(予定)
 - ①6月6・7日：札幌説明会
 - ②7月11・12日：大阪説明会
 - ③8月22・23日：東京説明会
- ・(案) 令和8年9月11日(金) 12:30～
※遠軽高校は9月8日(火)？

4 令和8年度4～7月の諸会議日程(予定)について

- ・4月3日(金) ※書面開催←zoomでの集まりもなし。各校で確認。
 - ・4月10日(金) 10:00 第1回事務局会議(湧別高校会議室)
 - ・4月14日(火) 10:00 第1回推進協議会(さざ波)
 - ・4月24日(金) 14:00 総会(さざ波—OR—TOM?)
↑学テの都合でずらして設定。さざ波使用可能：町教委確認済
 - ・5月8日(金) 10:00 事務局事前会議(ZOOM)
 - ・5月15日(金) 10:00 第2回事務局会議
 - ・6月10日(水) 10:00 事務局事前会議(ZOOM)
 - ・6月18日(木) 10:00 第3回事務局会議
 - ・7月10日(金) 10:00 事務局事前会議(ZOOM)
 - ・7月16日(木) 10:00 第4回事務局会議
- (芭露) スクールカレンダーの関係で、反省会議の日程が決まっているとありがたい。
→(湧高) 年度末までに提案できるよう調整。→【2027年2月15日(月) 提案】

5 入学者選抜に係る事前連絡について

- ・ Web 申請の状況について、重複申請が多数確認されている状況。
- ・ 紙で提出された願書と Web 申請のデータを照合し、誤ったデータは高校が削除する。
- ・ 重複データが確認された場合、紙の願書の受付番号と【Web 申請の受付番号】を照合。紙の願書の受付番号以外のデータを、湧別高校教頭が確認後に削除する。

6 各部会から

(1) 教育課程部会

- ・ Canva 研修の実施
- ・ 中高一貫だよりの作成

※今後の各部会の活動について、やり方を考える必要あり（学推協との連携も含め）

- ・ (町教委) 予算について研修等に使われているものが少ない。
教員が使いやすい予算編成等、検討していきたい。
- ・ (芭露) 教育課程部会の目的の明確化が必要（教科・特別支援等）

(2) 生徒指導部会

- ・ リーダー研修会（2/11）実施。バスの手配も完了済

(3) 総探部会

- ・ Zoom での部会を定期的に実施。
- ・ 高校に何う行事については今後も打ち合わせを行っていく。

7 その他

・会計について(事務長)

年度末に向けて会計業務を進めていただきたい。→この後メールにて改めて書式等を含めた依頼を送付

- ・ 特に、検定に関する受検生徒情報（英検・漢検は試験実施済、数検は3月実施）
- ・ 各校 10 万円の消耗品費（P P C 用紙、インク等）についても同様に処理を進めていただきたい。

<次回事務局会議の日時設定について>

3月18日（水） 10：00～ ZOOMによる遠隔開催

令和7年度 第9回湧別地区中高一貫教育推進事務局会議 議事録

日時 令和8年3月18日(水) 10:00～

場所 湧別高校会議室

➤ 司会は、上湧別学園(伊藤教頭)→芭露学園(坂田教頭)→ゆうべつ学園(豊原教頭)の輪番

議題

1 中高一貫教科部会と学推協教科部会との関係について

- ・目標：後期課程教員の負担軽減 来年度検討を続ける。

2 令和8年度中高一貫合同総会へ向けて

(1) 日時及び会場：令和8年4月24日(金) 14:00 さざ波

(2) 実践部会について

反省会同様、教育課程、特活・生徒指導、総探の3部会は、別日に ZOOM 又は書面で実施。

- ・活動方針(1)カ 赤文字部分追記
- ・組織図：その他部会→「専門教科」部会に変更
- ・令和8年度推進委員会：チーフ(◎)の教員確認 管理職・町教委は随時追記修正
- ・4月6日日処に湧別高校→各学校+教育委員会へ送付予定

3 研究集録へ向けて

- ・PDFデータ掲載場所：湧別高校HP、湧別町教育委員会HP
- ・本日の事務局会議の会議録をもって完成。

4 つなぎ学習のアンケート結果について

- ・2月25日(水)に実施済み。
- ・アンケート結果は概ね好評。

5 令和8年度4～7月の諸会議日程(予定)について(再掲)

- ・4月3日(金) ※書面開催
- ・4月10日(金) 10:00 第1回事務局会議(湧別高校会議室)
- ・4月14日(火) 10:00 第1回推進協議会(さざ波)
- ・4月24日(金) 14:00 総会(さざ波)
- ・5月8日(金) 10:00 事務局事前会議(ZOOM)
- ・5月15日(金) 10:00 第2回事務局会議
- ・6月10日(水) 10:00 事務局事前会議(ZOOM)
- ・6月18日(木) 10:00 第3回事務局会議
- ・7月10日(金) 10:00 事務局事前会議(ZOOM)
- ・7月16日(木) 10:00 第4回事務局会議

6 各部会から

- (1) 教育課程部会
- (2) 生徒指導部会
 - ・部活動クリニック11月7日(土)講師は昨年度と同様の予定
 - ・中高合同講演会：調整中
- (3) 総探部会

7 その他

- ・学推協と教科部会の連携について(町教委・教育課程部会)
→学推協・教科部会の活動を改めて確認・今後のあり方について検討していく予定。

<令和8年度第1回事務局会議の日時設定について>

4月10日(金) 10:00～ 湧別高校会議室 (対面で実施します)

5 成果と課題/次年度計画

成果と課題・次年度計画《教育課程・学習指導部会》

令和7年度 成果と課題

| 重点目標 | 成果 | 課題 |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・各学年において全教科分のシラバスを作成し、指導計画や授業改善に生かすなど、有効な活用を図る。 ・各教科部会において、授業交流および乗り入れ授業を計画的かつ積極的に実施する。 ・授業交流を通して、各校・各教科における基礎・基本の定着と指導力の向上を図る。 ・つなぎ学習における乗り入れ授業の内容や方法を工夫し、より充実した取組となるよう改善を進める。 ・中高一貫教育の取組や成果を発信するため、「中高一貫だより」を継続的に配布する。 | <ul style="list-style-type: none"> ① 授業交流の実施 各教科部会において中高の教員による授業交流を行い、指導内容や指導方法について相互理解を深めることができた。 ② つなぎ学習の推進 基礎学力テストに代わる取組として、生徒の学習の質を確保することを目的とした「つなぎ学習」を計画的に進めることができた。 ③ 中高一貫だよりの発行 中高一貫教育の取組を保護者・地域に周知するため、「中高一貫だより」を作成・配布することができた。 | <ul style="list-style-type: none"> ① 乗入授業・つなぎ授業の在り方 乗入授業およびつなぎ授業の日程について、中高双方の負担感が過度にならないよう、年間計画の段階から配置の工夫を行う。 ② 職員への周知・依頼体制の徹底 乗入授業や各種取組について、職員への依頼や周知を計画的に行い、事務手続きも含めて確実に実施する。 ③ つなぎ学習の成果検証 つなぎ学習の成果について、年度明けに実践内容や児童生徒の変容を整理・検証し、次年度に向けた改善につなげる。 ④ シラバスの有効活用 シラバスを指導計画や授業改善に生かす視点から、より効果的な活用方法を検討する。 ⑤ 本部会の役割・目的の再確認 本部会の役割や目的を改めて整理し、より実効性のある運営を目指す。 ⑥ ICT研修会の実施時期 研修時期について、参加のしやすさと年間研修計画全体のバランスを踏まえ、今後も検討を続ける。 ⑦ 中高一貫だよりの内容充実 授業連携や生徒の学びの様子なども取り上げ、中高一貫だよりの内容充実を図る。 |

令和8年度 年間計画

| 時期 | 実践項目の具体的内容 |
|--------|---|
| 5月 | シラバス配付 各学習指導部会計画作成 前年度のつなぎ学習の振り返り |
| 2～3月 | つなぎ学習の実施 |
| 随時 | 教科部会の開催 |
| 随時 | 中高一貫だよりの発行（合同講演会・部活動クリニック） |
| 11～12月 | 研修会（内容未定） |

成果と課題・次年度計画《特別活動・生徒指導部会》

令和7年度 成果と課題

| 重点目標 | 成果 | 課題 |
|---|---|---|
| 1-①吹奏楽クリニック 各学校の吹奏楽顧問の協力を得ながら、各楽器や合奏などの技術向上を目指したクリニックを実施する。 | 吹奏楽クリニック 6月16・17日、7月19日、25日、29日湧別高校やさざ波にて開催。各楽器の基礎練習から教わるため、基礎力が向上し、生徒の演奏技術向上に繋がり、専門的に教えてもらうことができるため、指導者による不安解消にも繋がった。 | 中学校から高校までで楽器がそろっているパートが少ないため、今後の実施に関して、合奏の指導者にクリニックをお願いすることも検討しなければならない。また、交通費の上昇により講師の先生方への謝礼の金額が上がってしまう部分があるため、お願いする時に交渉することも必要である。 |
| 1-②運動部クリニック 昨年度より部活動ごとの開催ではなく、運動部を一括して開催し、どの部にも還元できる内容で生徒と顧問を対象とした講習会を実施した。 | 運動部クリニック 11月8日、金子航太氏を講師に湧別高校にて開催。 全ての競技の基礎となる体幹を鍛えるトレーニングの講習会を実施し、具体的なトレーニング方法と注意事項や解説を受けることで正しい練習方法が理解で有意義なものとなった。次年度継続の意見が多数あった。 | 開催時期については、大会等の関係があり、全部活の参加は困難である。 また、開催日前日に雪が降ったこともあり、次年度以降、開催は11月の上旬より前で実施する。 |
| 2 合同講演会 湧別や北海道にゆかりのある講師を中心に選定する。 | 10月7日、株式会社 ZENSHIN CONNECT 代表取締役 杉谷拳士氏（元日本ハムファイターズ）を講師に開催。 杉谷氏の生い立ちや野球人生において心がけてきたこと等をユーモアを交えて紹介し、努力する事の価値や目標達成後のその先を目指す事を、『前進の心得』として語っていただいた。生徒たちへ多くのメッセージを伝えていただき、大変有意義な講演会となった。 | 昨年度の反省を生かし、TOMで実施した。生徒たちからの要望では有名人をという声もあるが、湧別（北海道）にゆかりがあり、ネームバリューのある人材を見つける難しさがある。 |
| 3 リーダー研修会 各学校の取組を交流することや、テーマに沿った議論を深めていくなどして、各校の生徒会活動の活性化を目指す。 | 2月11日、湧別高校にて開催。 中高の生徒会役員が一堂に会し、交流を深める機会とし、各校の取組を互いに交流することで自校の取組への良い刺激となった。 | 時期的に管内生徒会サミットと近いため、町内行事を優先した。担当校におまかせし、負担感が少ない実施を継続していく。 |

令和8年度 年間計画

| 時期 | 実践項目の具体的内容 | 備考 |
|----|------------------------------------|-------------------|
| 4 | 第1回特活生徒指導部会 | 第1回部会は総会の後に紙面にて実施 |
| 5 | 部会体制確立、前年度反省に基づいた事業計画立案 | |
| 6 | 部活動クリニック（吹奏楽）は吹奏楽顧問の協力を得て内容を決定していく | |
| 10 | 合同講演会（講師・未定） | |
| 11 | 部活動クリニック（講師・時期未定） | |
| 12 | リーダー研修会（担当：上湧別学園） | |
| 2 | 活動反省 | |

成果と課題・次年度計画《総探部会》

令和7年度 成果と課題

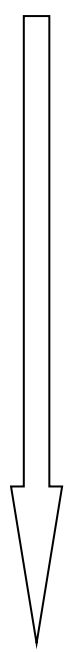
| 重点目標 | 成 果 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 探究的活動の交流を検討する。(総探レポートの作成、未来計画報告会への参加等) ・ 湧別町の探究的な活動において、地域性、発達段階、興味関心、学びの深まりに応じて生徒が目指すべき資質・能力を検討する。 ・ 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを活かしながら、積極的に社会に参画しようとする取り組みを充実させる。 ・ 自分の暮らしや地域の問題を見つめ、思いや願いを膨らませ、自己選択や自己決定を繰り返して深く考え、多様な他者と協働して課題を解決する各校の取り組みを充実させる。 ・ 連携入試に向けた「ゆうべつ学」と「地域学習」の調整を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 各校で計画した探究学習の取り組みに向け、フィールドワークや地域訪問先のバッティング等トラブルが発生しないよう訪問先の調整を図ることができた。 ・ 年間の総探部会を通し「ゆうべつ学・地域学習」で目指す生徒の身に付けるべき資質・能力の原案を作成できた。 ・ 各校の探究学習において、子どもの充実感や達成感に繋がる取り組みが実施できた。 ・ 各校が工夫して取り組んだ地域を知るための探究的活動を「総探レポート」として作成し交流できた。 ・ 各校の学習では子どもが主体性や協働性をもち、地域の素晴らしさや抱えている問題などをよく知るきっかけに繋がった。 |

| 課 題 |
|---|
| <p>①昨年度S T C部会が廃止され、総探部会は「湧別町の探究学習の今後を考える」といった目的でスタートしました。取り組む内容が明確でなかったため、当時の総探部会を通して推進協議会で検討いただき、下記について取り組むことが確認されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○連携入試において「ゆうべつ学・地域学習」のプレゼンを評価する。 ○「ゆうべつ学・地域学習」の学び方を、高校の未来計画に繋げる。 <p>②町内3校の取り組みを高校の取り組みに繋げることが目的の1つです。今回は町内8年生を対象に来計画発表会を「体験入学」として高校で企画していただきました。8年生にとって、高い学びに繋がる貴重な機会と思いますが、当初期待していたものより少し物足りない内容にも感じました。高校の生徒・先生方ともに試行錯誤して全力で取り組まれていると思うので恐縮ではありますが、アプローチやまとめ方等、中学生が「さすが高校生！」と思えるレベルの発表だと中学生もより質の高い内容を目指すモチベーションに繋がると思います。</p> <p>③高校の未来計画発表会では中学生をはじめ、町内外からも多くの来賓がお越しになっていた様子でした。そういった緊張感のある場での発表は高校生にとっても貴重な経験になったかと思えます。表現や語彙の使い方に一部、誤りが見てとれました。発表する高校生にとっても後から指摘されると印象は良くないので、リハーサル時に教職員や生徒同士で相互チェックしておくといいかもかもしれません。</p> <p>④「ゆうべつ学」「地域学習」「未来計画」では、校内の取り組みに時間的な余裕がなく、事前打ち合わせにかなりの労力を要するため町内合同の生徒交流は今後も難しいと思います。今年度は芭露学園とゆうべつ学園で職場体験学習が実施されましたが、こういった企画を合同で実施する場合は早めの動き出しが必要です。</p> <p>⑤各校探究学習で依頼する地域企業等の交流により、「ゆうべつ学」や「地域学習」の各校訪問に影響なく実施できました。訪問地も「ゆうべつ学」や「地域学習」では重複する部分がほとんどありませんでした。</p> <p>⑥「ゆうべつ学」「地域学習」のどちらもいづれネタが尽きることが懸念されます。町内の探究学習について今後も引き続き検討が必要です。</p> <p style="padding-left: 20px;">→ 芭露学園やゆうべつ学園で実施している「地域・オホーツク・北海道」といった発展的な学習段階を参考に各校の交流を深め自校に活かしていきます。</p> <p><連携入試関係 *総探部会で言うことではありませんが・・・></p> <p>湧別高校への要望として連携入試に関わる情報を早めにいただきたい。例えば「連携入試調整会議」などは12月に実施したが、各校の探究学習はすでに終了間際の状況で、入試内容など変更されたら対応できない。連携入試でどのような内容を扱うかなど、前年度のうちに知っておきたい。</p> |

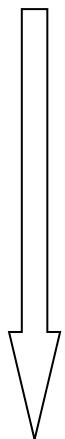
→上記課題を踏まえた方向性

- 1 総探部会での各校代表1名+部長の5名構成は引き続き継続する。
- 2 連携入試に向けた「ゆうべつ学」と「地域学習」の調整を図る場にする。
- 3 町内の生徒が目標とする目指すべき資質・能力を引き続き検討する。
- 4 他校の探究活動の情報がわかるよう総探レポートを作成し交流する。
- 5 引き続き湧別高校からの要請があるため、町内8年生を未来計画発表会に参加する。*2時間

令和7年度の取り組み

| 時 期 | 実 践 項 目 の 具 体 的 内 容 | |
|-------------|--|--|
| 4月 6月13日 | 中高一貫教育総会 「ゆうべつ学」「地域学習」「未来計画」 第1回調整会議、職業体験学習打合せ |  未来計画 年8回 探究サポーターや報告会 7月 中間報告会 12月 生徒活動報告会 地域の方が授業に加わって いただく活動 年5回 2月 全体報告会 |
| 8月27日 | 「ゆうべつ学」「地域学習」「未来計画」 第2回調整会議 | |
| 10月28日 | 「ゆうべつ学」「地域学習」「未来計画」 第3回調整会議 | |
| 12月 | 8年生「未来計画活動報告会」参加 | |
| 1月20日 | 「ゆうべつ学」「地域学習」「未来計画」 第4回調整会議 | |
| 1～2月 | 総探レポート作成 | |
| 2月中 | 「ゆうべつ学」「地域学習」「未来計画」 第5回調整会議 | |
| 2月16日 | 中高一貫合同反省会議 | |

令和8年度の予定

| 時 期 | 実 践 項 目 の 具 体 的 内 容 | |
|----------|--|---|
| 4月 5月 | 中高一貫教育総会 「ゆうべつ学」「地域学習」「未来計画」 第1回調整会議 |  未来計画 年8回 探究サポーターや報告会 7月 中間報告会 12月 生徒活動報告会 地域の方が授業に加わって いただく活動 年5回 2月 全体報告会 |
| 7月～8月 | 「ゆうべつ学」「地域学習」「未来計画」 第2回調整会議 | |
| 11～12月 | 8年生「未来計画活動報告会」参加 | |
| 1月～2月 | 総探レポート作成 | |
| 1月下 | 「ゆうべつ学」「地域学習」「未来計画」 第3回調整会議 | |
| 2月 | 中高一貫合同反省会議 | |

湧別町各校(後期課程)の「探究学習」で現在取り組んでいる状況

| 学年の区切り | 後期課程 | | |
|---------|--|---|---|
| | 探究学習の初期 | 探究学習の充実 | 探究学習の発展 |
| 町内各校 | 7年(中学校1年生) | 8年(中学校2年生) | 9年(中学校3年生) |
| ◇芭露学園 | <p>「芭露地区の歴史遺産、産業資産について学ぶ活動」</p> <p>○体験の過程において地元の人々や産業の特徴やよさなど、それらの関わり等に気付いていくとともに、芭露地区での生活に必要な習慣を理解する。</p> | <p>「オホーツク地区の歴史遺産、産業資産について学ぶ活動」</p> <p>○学習の範囲をオホーツクに広げ、訪問に必要な知識を学び、計画案を作成する。また訪問後はレポートにまとめ、自分が住むオホーツクのよさを理解する。</p> | <p>「北海道の歴史資産、産業資産について学ぶ活動」</p> <p>○学習の範囲をさらに北海道まで広げ、体験自体の楽しさを味わいながら、自己の将来に必要な知識や技能を学び、よりよく課題を解決する力の基礎を身に付ける。プレゼンテーションを実施する。</p> |
| ◇ゆうべつ学園 | <p>「ゆうべつ学とオホーツク学・ほっかいどう学で故郷について学ぶ活動」</p> <p>○自分の故郷である湧別、オホーツク、北海道の自然や歴史、産業、環境、観光などの領域について、自分で興味・関心をもったことへの探究学習及び調査・実地体験活動を通して、今まで知らなかった地元のことやふるさとの良さに気づき、自分の生き方に繋がる「何か」を発見する。疑問に思ったことを深く探求し、他の地域やことごとと比較・検証しグローバルな視点から探究する積極的な態度を養う。</p> <p>「地域探究」</p> <p>○1年次～3年次で訪問する自治体や地域に目を向け、自分の所属する地域と比較し関連させながら、自然や歴史、産業、観光などについて探求や体験を通して、情報を収集し、アイデアを出し合うことで自分の住むふるさに目を向け、地域に積極的に関わろうとする態度を養う。</p> | | |
| ◇上湧別学園 | <p>「ゆうべつ学を取り扱い、地元について学ぶ活動」</p> <p>○湧別町の歴史や自然など、ふるさとをフィールドとしたテーマを決め、課題設定→整理・分析→まとめ→表現を重視した学習に取り組む。その課程で思いや願いを膨らませ、自己選択や自己決定を繰り返しながら深く考える力を育成する。それとともに多様な他者と協働して課題を解決する力の育成を図る。</p> | | |
| | <p>オリエンテーション～フィールドワーク①～中間発表～フィールドワーク②～まとめ発表</p> | <p>○フィールドワークでは訪問場所をそれぞれ検討する。プレゼン発表ではリハーサルを実施する。</p> | |
| ❖補足 | <p>プレゼンテーション:学んだことを端末の利用によりレポートにまとめ、学級及び全校に向けその成果を発表する。</p> | <p>学習時間の確保について:総合的な学習の時間を活用し地域学習・ゆうべつ学には年間まとまって時数を確保する。広範囲な取り組みを様々な学習形態から実施する。</p> | |

| 湧別町(後期課程・高校生)の「探求学習」で目指すべき目標 | |
|------------------------------|---|
| 町内各校 | 中学校後期課程・高校生 |
| 各学年 | 湧別町立芭露学園・湧別町立ゆうべつ学園・湧別町立上湧別学園 |
| | 北海道湧別高等学校 |
| ◇7年生段階 初期 | <p>【地域との関わりと習慣の理解】 体験の過程において、地元の人々や産業の特徴良さ、それらの関わりに気づく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で興味・関心の引くテーマを設定し、地域の産業や町の特徴を理解しながら情報を収集することができる。 ・端末を活用して必要な情報を集め、資料にまとめ発表することができる。 <p><資質・能力>基本となる思考力・判断力・表現力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題設定力、情報収集力、コミュニケーション能力、学び方やものの見方 |
| ◇8年生段階 充実 | <p>【地域と自分との比較・関連づけ】 訪問する自治体や地域に目を向け、自分の所属する地域と比較し関連させながら探求・体験する。情報を収集し、アイデアを出し合う活動を通し自分の住むふるさとに目を向け、地域に積極的に関わろうとする態度を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの問いをもって多様な手段で情報を収集し、様々な見方や観点があることが理解できる。 ・探求的な学習を通して相手のとって伝わりやすい文章になるように工夫した取り組みができる。 ・自分が収集したデータを表にまとめ分析し、メディアを比較しながら発表できる。 <p><資質・能力>総合的な思考力・判断力・表現力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決力、整理分析力、省察力、先を見通す力 |
| ◇9年生段階 発展 | <p>【さらなる探求分野の拡大と知識の深化】 学習の範囲を広げ、訪問に必要な知識を学び、計画案を作成する。また訪問後、レポートにまとめ、自分が住む地域の良さを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探求学習を通して自分の生き方に繋がる「ヒント」を発見し、自分のテーマとする地域と他の地域と比較検証しグローバルな視点から物事を考えることができる。 ・仮説を立て検証することや、抽象的・帰納的に考えることで論理的な思考が発揮できる。 ・情報処理や端末の特徴的な効果を活かしながら、相手にとってわかりやすいプレゼンテーションができる。 <p><資質・能力>質の高い思考力・判断力・表現力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題発見力、情報収集力、情報活用力、創造力、論理的思考力 |
| ◇湧別高校 | <p>【主体的に生きる力を育てる探究】 地域や進路・身近な生活の中で自ら問いをたて、情報の整理・分析を通し、課題解決能力を伸長する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究の過程において課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。 ・実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 ・探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。 <p><資質・能力>質の高い思考力・判断力・表現力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現する力、思考する力、協調する力、振り返る力 |

総探部会 令和7年度活動内容・成果・反省

○【上湧別学園】総合的な学習の時間 活動内容と成果

活動内容

<7～9年生共通「ゆうべつ学」プログラム>

- ・オリエンテーション ・JRY館長講話 ・ウェビングマップ作成
- ・前期フィールドワーク（視察場所の検討、質問内容の検討、訪問、反省と礼状）
- ・中間発表（データの作成 リハーサル、発表）
- ・後期フィールドワーク（視察場所の検討、質問内容の検討、訪問、反省と礼状）
- ・学習成果発表会（データの作成、リハーサル、発表、まとめ）

<他校との交流授業>

- ・7年生新篠津中学校との交流授業（12月）

<キャリア学習>

- ・中高一貫講演会 ・未来計画成果発表会（8年） ・進路ガイダンス（7、8年）
- ・訪問地探究学習（8、9年） ・湧別高校体験入学（9年） ・進路説明会（9年）
- ・面接試験に向けて（9年）

<ふるさと学習>

- ・チューリップ観察（8年） ・球根の掘り起こし作業（8年） ・球根植え付け作業（8年）

○活動写真



○令和7年度の反省と令和8年度に向けて

令和7年度は「ゆうべつ学」に取り組んで2年目となります。8～9年生は少し慣れた様子でフィールドワークの計画やプレゼンテーションのまとめに取り組んでいました。7年生で実施した新篠津中学校とのオンライン授業は今年度で4年目を迎え、地元の様子を伝え合い積極的に意見交換して交流を深めました。8年生ではチューリップに関する学習に取り組み、地元の観光産業に貢献しています。次年度も地元の文化や産業を事前学習やフィールドワークを通して学びたいと思います。

総探部会 令和7年度活動内容・成果・反省

○【ゆうべつ学園】総合的な学習の時間 活動内容と成果

活動内容

- <7～9年生共通「ゆうべつ学」(＋オホーツク学、＋ほっかいどう学) >
- ・オリエンテーション ・課題、テーマの決定 ・探究学習を通して課題意識を高める
 - ・フィールドワーク (訪問先の決定と課題追及、イベントサポート及び交流、前日準備、訪問)
 - ・調査探索、収集した情報整理と分析
 - ・ゆうべつ学フェスティバル (発表準備、発表会、振り返り)
- <キャリア学習>
- ・中高一貫講演会 ・ゲストティーチャー講演会 (7年) ・職業講演会 (7、8年)
 - ・進路説明会 (7・8年) ・未来計画成果発表会 (8年) ・湧別高校体験入学 (9年)
 - ・職場体験学習 (9年)
- <地域探求>
- ・紋別市の訪問に向けた地域探究 (7年) ・北見市の訪問に向けた地域探究 (8年)
 - ・札幌市の訪問に向けた地域探究 (9年) ・自主研修探究の整理分析 (8・9年)

○活動写真



○令和7年度の反省と令和8年度に向けて

令和7年度は「ゆうべつ学」に取り組んで4年目となりました。最初は「湧別」に関するものが中心でスタートした「ゆうべつ学」でしたが、学びの領域を広げ、オホーツク、ひいては北海道について自分が興味・関心をもったことへの探究的な学習に発展して現在に至ります。湧別を起点として、ほかの地域やことがらと比較・検証し、さらにグローバルな視点で追及することで、地元の活性化や再発見に繋げ、ふるさとに積極的に関わろうとする態度が育まれました。今年度は紋別市や北見市・札幌市への地域探究を実施し、さらに視野を広げることができたと思います。次年度も地元の今まで知らなかった発見に結び付く学びを目指すとともに、今年度以上にテーマを深掘りし、テーマに関係する分野の裾野を広げることができれば良いと思います。

総探部会 令和7年度活動内容・成果・反省

○【芭露学園】総合的な学習の時間 活動内容と成果

活動内容

7～8年生：探究！パロサロマ（芭露徳の歴史・文化・産業）

<地域学習>

・課題設定 ・文化体験 ・歴史調べ ・J R Y体験学習 ・産業体験 ・9年生発表参観
・前期ふれあい広場参観 ・地域学習発表会

<キャリア学習>

・身近な職業調べ ・中高一貫合同講演会 ・職場体験学習 ・湧別高校体験入学

9年生：探究！ホッカイドウ（北海道の歴史・文化・産業）

<地域学習>

・課題設定 ・札幌市の地域学習 ・北海道の歴史 ・北海道の文化産業 ・地域学習発表会
・前期課程ふれあい広場参観 ・7～8年生発表参観

<キャリア学習>

・上級学校訪問 ・中高一貫合同講演会 ・職場体験学習 ・湧別高校体験入学

○活動写真



○令和7年度の反省と令和8年度に向けて

今年度は7～8年生が複式学級となり合同で学習に取り組んできました。探究学習で訪問した企業には大変お世話になり、生徒にとって貴重な経験となったようです。9年生は「北海道学」に取り組んできました。札幌では上級学校訪問でさらに学びを深めました。地域学習発表会では湧別町の「町長になったら」のテーマで町おこしについて考え、発表の様子は保護者の皆さんに参観していただきました。芭露学園は、次年度8～9年生が修学旅行に行く予定です。合同で上級学校訪問への参加となります。

総探部会 令和7年度活動内容・成果・反省

○【湧別高校】総合的な学習の時間 活動内容と成果

| 活 動 内 容 |
|---|
| <p><1～3年生共通 総合的な探究の時間「未来計画」プログラム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・趣旨説明 ・課題設定 ・情報収集（未来計画の内容の提示） ・中間発表準備（ワークシートを利用し、課題を設定する） ・中間報告、前期振り返り（インターネットや書籍等を利用して情報を集め、整理分析する） ・企画検討、改善（この時点での考えや意見などをまとめて表現する） ・内容詳細の作成（他の生徒や教員のフィードバックを経て、企画内容の修正改善の方針を作成） ・企画等準備、企画実行 ・活動報告会準備（前期活動を踏まえて、企画した取り組みの準備や研究の実施） ・活動報告会、年間振り返り（探究学習における過程をまとめて活動報告の準備を進める） ・全体活動報告会（探究学習に取り組んだプロセスを他者に分かりやすいようにまとめて発表する） |

○活動写真



○令和7年度の反省と令和8年度に向けて

令和7年度は「対話をおこないながら探究をする」ことをテーマに活動を進めました。探究活動は1人ではできないため、自分の考えを話し、また他の人の考えを聞きながら新たな発見をしたり仮説を深めたりする営みを大事にした一年でした。また、義務教育学校8年生の生徒に最後の成果発表会に参加して頂いたことで、生徒達もよい緊張感を持ってプレゼンテーションに臨めたのではないかなと思いました。次年度はさらなる探究活動の充実に向けて、今までやってきたことを見直しながら、生徒達の主体的な学びの場を作っていきます。

成果と課題・次年度計画<<教科>> (国 語)

令和7年度 成果と課題

| 重点目標 | 成 果 | 課 題 |
|---|--|---|
| <p>各校の交流を深め、地域の子どもたちの実態を把握し、国語力の伸長に努める。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 乗り入れ授業 未実施 次年度以降行わない ・ つなぎ学習 毎年2月実施 ・ 漢字検定 実施 第1回 6月13日 第2回 11月7日 第3回 1月23日 次年度も3回湧別高校で行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字検定の平日開催による、小中学生の送迎問題。 →高校で実施しているものなので、高校側の日程に合わせてもらうしかほかない。 |

令和8年度 年間計画

| 時期 | 実践項目の具体的内容 | 備考 |
|-----|------------|------------|
| 4月 | 計画 | 令和8年度漢字検定は |
| 6月～ | 漢字検定 | 第1回7月10日 |
| 1月 | | 第2回10月23日 |
| 2月 | つなぎ学習 | 第3回1月22日 |
| | 総会 | |

【R8 部会長校：上湧別学園】

成果と課題・次年度計画◀ 教科 ▶ (社会)

令和7年度 成果と課題

| 重点目標 | 成 果 | 課 題 |
|------------------------------|-------------------------|--|
| <p>○授業交流</p> <p>○地域教材の研修</p> | <p>○上湧別学園の授業交流会に参加。</p> | <p>○個別な授業見学など教員間の交流を増やしたい。</p> <p>○タイミングが合わず、実施できなかったので、次年度は実施したい。</p> |

令和8年度 年間計画

| 時期 | 実践項目の具体的内容 | 備考 |
|-------|------------|---|
| 随時 | ○地域教材の研修 | |
| 9～10月 | ○乗り入れ授業 | ○乗り入れ授業（体験入学）の中で、社会科とキャリア教育、総探等横断的な授業を実施。 |
| 随時 | ○授業交流 | |

【R8 部会長校：芭露学園】

成果と課題・次年度計画<< 教科 >> (数学)

令和7年度 成果と課題

| 重点目標 | 成 果 | 課 題 |
|--|---|--|
| <p>・検定をはじめとして、中高の連携を取り、数学に対する学習意欲の向上を図る。</p> | <p>・年3回の数学検定を実施した。中学生にも例年通り、参加してもらえた。</p> | <p>・英検、漢検共に小学生の受講があったが、数学検定ではなかった。来年度以降は小学生への数学検定の参加も促す。</p> |

令和8年度 年間計画

| 時期 | 実践項目の具体的内容 | 備考 |
|---------------------------------|--|------------------------------------|
| <p>4月 6月 10月 2月</p> | <p>新年度計画立案 第1回数学検定 第2回数学検定 第3回数学検定 つなぎ学習</p> | <p>つなぎ学習に関しては、昨年度同様、オンラインにて行う。</p> |

【R8 部会長校：上湧別学園】

成果と課題・次年度計画◀ 教科 ▶ (理科)

令和7年度 成果と課題

| 重点目標 | 成 果 | 課 題 |
|------------------|--|--|
| ・授業交流を通して連携を深める。 | ① 湧別高校学校説明会で実施した。模擬授業を通して、高校での学習内容に興味を持たせることが出来た。 ② ゆうべつ学園の野外実習授業に同行し、観察・実習の動機付けや指導の方法について学ぶことが出来た。 | ① 実施に関わる周知の徹底に努める。 ② 次年度も推進して実施したい。 |

令和8年度 年間計画

| 時期 | 実践項目の具体的内容 | 備考 |
|----|------------|----|
| 4月 | 新年度計画立案 | |
| | 高校模擬授業 | |
| | 授業見学 | |
| 2月 | 年度反省 | |

【R8 部会長校： 】

成果と課題・次年度計画 << 教科 >> (英語)

令和7年度 成果と課題

| 重点目標 | 成 果 | 課 題 |
|------------------------------|---|---|
| ①各校の交流を深め、生徒の実態を把握する。 | ・2月25日(水)に、湧別高校と各義務教育学校との間で、湧別高校への進学予定生徒を対象に「つなぎ学習」を実施し、交流を図る予定。(2/6 現在) | 今年度も対面ではなく、ZOOM で実施する予定。各校の授業始まりの時刻が異なっているので、学校によっては、授業時間の調整が必要になっている。 |
| ②授業交流を通して、校種間の実態を把握し、理解を深める。 | ・2月6日(金)に湧別高校(澤先生)がICTを活用した公開授業を行い、中高の交流を行った。高校の授業のやり方を知り、卒業生が頑張っている姿が見られて良かった。 | 年度初めの会議である程度日程のめどを立てておくが良い。 |
| ③生徒の英語力を把握し、その伸長を図る。 | ・年3回の英語検定を湧別高校合同会場で実施し、町内各校の生徒が自身の英語力を把握し、新たな目標を設定することができた。 | ・次年度から小学生対象の検定級が増設される。学園前期の児童の受検者が増えることが予想されるので、前期の英語担当者にも試験監督の協力を依頼する。 |

次年度(令和8年度) 重点目標の方向性

ICTのAI機能や翻訳機能をどこまで授業の中で活用できるか、英語科の運用方法を考察する。

令和7年度 年間計画

| 時 期 | 実践項目の具体的内容 | 備 考 |
|--------------------------------|--|-----|
| 5月30日(土) | ・ 実用英語技能検定(1回目) 土曜合同開催 2次試験は7月5日(日) | |
| 9月26日(土) | ・ 実用英語技能検定(2回目) 土曜合同開催 2次試験は11月8日(日) | |
| 1月23日(土) | ・ 実用英語技能検定(3回目) 土曜合同開催 2次試験は2月28日(日) | |
| 未 定 2月下旬～3月上旬 通 年 随 時 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業交流(ゆうべつ学園) ・ つなぎ学習(湧別高校への進学予定者対象) ・ 中高一貫シラバスの情報収集と分析、交流 ・ 部会の実施 <p>* 研究授業の実施輪番</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 2027年度(芭露学園) ⇒ 2028年度(上湧別学園) ⇒ 2029年度(湧別高校) ⇒ 2026年度(ゆうべつ学園) </div> <p>* 部長の輪番</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 2027年度(上湧別学園) ⇒ 2028年度(湧別高校) ⇒ 2029年度(ゆうべつ学園) ⇒ 2026年度(芭露学園) </div> | |

成果と課題・次年度計画◀ 教科 ▶ (保健体育)

令和7年度 成果と課題

| 重点目標 | 成 果 | 課 題 |
|--|---|---|
| ① 授業交流を通じて、各学校の生徒の実態を把握し、生徒理解を深める。 | ・スキー授業における乗り入れを行わず、各校で実施することができた。 | ・ソフトボール用具の管理については必要に応じて学校間でやりとりをおこなう。 |
| ② 体を動かすことの喜びを味わうことができるような授業交流をおこない、指導方法などの研究をおこなう。 | ・学推教（小・中）の公開授業が後期課程の場合、高校との連携も図ることができるよう高校も参加するようにする。 | ・座学等（保健）での乗り入れ授業についても検討していく。 ・次年度の義務と高校の乗り入れ授業は、次年度のメンバーで実施内容や時期を検討する。（スキー授業の相互乗り入れ等含） |

令和8年度 年間計画

| 時期 | 実践項目の具体的内容 | 備考 |
|-------|---|---|
| 4 月 | 第1回保健体育部会 ・ 役員の輪番確認 ・ 乗り入れ授業の日程・内容の調整と確認 | ・ 乗り入れの柔軟化 ・ 中高間の相互乗り入れ授業等の強化 |
| 5～7 月 | ソフトボール用具レンタル開始 ・ 湧別高校 ⇄ 上湧別学園 ・ ゆうべつ学園 ⇄ 芭露学園 | ・ 研究授業時期の検討 |
| 11 月 | スキー授業日程調整・確認 スキー授業日程決定（スキー場会議） | 研究授業について R8 上湧別学園→R9 湧高→ R10 ゆうべつ学園→R11 芭露 学園→・・・ |
| 1～2 月 | 中学校・高校スキー授業 (相互乗り入れ予定) | 部長校 |
| 2 月 | 中高一貫合同反省会 | R8 ゆうべつ学園→R9 芭露学 園→R10 上湧別学園→R11 湧 高・・・ |

【R8 部会長校：ゆうべつ学園】

成果と課題・次年度計画《 教科 》（ 音楽 ）

令和7年度 成果と課題

| 重点目標 | 成 果 | 課 題 |
|--|----------------------------|--|
| ・積極的に交流を行い、3校の音楽指導の技術向上と音楽環境を整えながら、豊かな生徒の育成に努める。 | ・湧別高校の合唱審査に参加し、交流することができた。 | ・高校生と中学生による発表会ができると中高の連携に繋がるのではないかと検討。 ・合唱発表会に向けて、中学校の先生に高校生の指導をしていただくなど検討が必要である。 |

令和8年度 年間計画

| 時期 | 実践項目の具体的内容 | 備考 |
|----|---|-------|
| 未定 | ・各学校祭の合唱審査や講評 ・町のイベントでの吹奏楽合同演奏 ・中高一貫部活動クリニックの実施 | ←中高連携 |

【R7 部会長校： 湧別高等学校 】

成果と課題・次年度計画 《 教科 》（その他）

令和7年度 成果と課題

| 重 点 目 標 | 成 果 | 課 題 |
|---------|--|---|
| | <p>中高一貫事業としての実績なし</p> <p>※湧別高校3年生に対して、上湧別学園高山先生が芸術に関わる知見を要する受験指導を支援することができた。</p> | <p>スケジュール管理・時数調整等に困難があった。</p> <p>芸術に関わる教育活動の連携強化に向けた実践例として参考にする。 実際に活動できる領域（授業・課外活動・その他）を検討していく必要がある。</p> |

令和8年度 年間計画

| 時 期 | 実 践 項 目 の 具 体 的 内 容 |
|-------|---|
| 5月 | 年間の活動計画 |
| 6～12月 | <p>① 高校授業見学（仮）</p> <p>② 芸術活動 上湧別学園にてアトリエ開放（仮）</p> |
| 1月 | 年度反省 |

成果と課題・次年度計画（養護部会）

令和7年度 成果と課題

| 重点目標 | 成 果 | 課 題 |
|--|---|---|
| <p>①各校の児童生徒の実態を把握する。</p> <p>②高校入学後の生徒の変容と支援方法の検討を行う。</p> <p>③6年間を通じた支援のあり方を検討し、連携を深める。</p> <p>④事例検討を行い、対応力の向上に努める。</p> | <p>・事例検討を通し、支援方法の検討や情報交換を行うことができ、生徒への対応力向上に努めた。</p> <p>・湧別高校入学希望者の引き継ぎを密に行い、支援方法について共有することができた。また、入学後の生徒の変容等についても交流を行うことができた。</p> <p>・「性の教育」の授業交流や「食育」に関する調理実習を行い、各校での保健教育に活用することができた。また、ICTを活用した動画や資料作成を行い、知識を深めることができた。</p> | <p>・保健教育に関わる授業交流等は、年度初めに計画に組み込む。</p> <p>・各校との連携を深め、6年間を見通した保健教育の推進を目指す。</p> |

令和8年度 年間計画

| 時期 | 実践項目の具体的内容 | 備 考 |
|----|--------------------|-----|
| 4月 | 第1回養護部会（総会・年間計画作成） | |
| 9月 | 第2回養護部会（執務交流） | |
| 1月 | 第3回養護部会（引き継ぎ） | |
| 2月 | 第4回養護部会（総会・反省会議） | |

成果と課題・次年度計画 (特別支援)

令和7年度 成果と課題

| 重点目標 | 成 果 | 課 題 |
|---|---|---|
| <p>中高のつながりを意識した支援の在り方を検討する</p> <p>① 高校入学後の生徒の変容を知る。</p> <p>② 各校の実態を把握する。</p> <p>③ 6年間を見通した支援の在り方を検討し、連携を深める</p> | <p>① 6月26日に湧別高校の数学の授業を参観させていただいた。一斉授業に参加している様子を見ることができ安心した。</p> <p>② 湧別高校進学予定の支援生徒について交流することができた。</p> <p>③ 第2回交流会で9年生の引継ぎを行う予定だったが、日程が合わず行うことができなかった。</p> | <p>① 授業参観については、8年生か9年生の体験授業の際に行ってもいいかもしれない。</p> <p>② 中学校で行っている合理的配慮が、高校ではどの程度できるのか、今後確認していきたい。</p> <p>③ 日程調整を早めに行い、引継ぎと課題について交流していきたい。</p> <p>卒業後の就職について、高校ではどのような支援をしてくれるのかをお聞きしたい。(療育手帳を持っていない生徒)</p> |

令和8年度 年間計画

| 時期 | 実践項目の具体的内容 | 備考 |
|-----|------------|------------------------|
| 4月 | 総会 | 12月の日程については、検討する必要がある。 |
| 6月 | 第1回交流会 | |
| 12月 | 第2回交流会 | |
| 2月 | 反省 | |

【R8 部会長校：湧別高校】

6 各実践部会活動記録

令和7年11月吉日

各関係学校長 様

湧別地区中高一貫教育推進協議会委員長
(湧別町教育委員会教育長)
阿 部 勉

中高一貫教育課程部会主催 ICT 研修会の開催について (お願い)

このことについて、次のとおり開催いたしますので、時節柄ご多用のことと存じますが、関係職員の出席についてご高配くださいますようお願いいたします。

記

1. 研修名 : 湧別地区中高一貫教育推進協議会主催 ICT 活用研修会
2. 日 時 : 令和7年12月25日(木)・26日(金)
3. 会 場 : 湧別町立ゆうべつ学園 1F 第2多目的室
4. 内 容 : Canva の利活用と授業改善について
詳細は、別添の研修開催チラシをご覧ください。
5. 対象者 : 湧別高校・上湧別学園・ゆうべつ学園・芭露学園教職員
6. 交通費 : 本町の規程に基づきお支払いします。

お問合せ先

湧別町立ゆうべつ学園

教頭 豊原 隆之

電話 01586-5-2410

FAX 01586-5-2418

令和7年11月吉日

加藤 一義 様

湧別地区中高一貫教育推進協議会委員長

(湧別町教育委員会教育長)

阿 部 勉

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素より本町の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、このたび湧別町では、教職員の ICT 活用指導力向上を目的として研修会を計画しております。
つきましては、ぜひ講師としてご指導を賜りたく、下記のとおりご依頼申し上げます。

記

1. 研修名 : 湧別地区中高一貫教育推進協議会主催 ICT 活用研修会
2. 日 時 : 令和7年12月25日(木) 10時00分～16時30分
12月26日(金) 10時00分～15時30分
3. 会 場 : 湧別町立ゆうべつ学園 1F 第2多目的室
4. 内 容 : Canva の利活用と授業改善について
5. 対象者 : 湧別高校・上湧別学園・ゆうべつ学園・芭露学園教職員
6. 謝 礼 : 80,000円(交通費・宿泊費・資料作成費・諸経費込)

ご多忙のところ恐れ入りますが、ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

この件に対するお問い合わせ
湧別地区中高一貫教育推進協議会
教育課程部会 部長
(湧別町立ゆうべつ学園教頭)
豊原 隆之

令和7年11月吉日

厚沢部町長

佐藤正秀様

湧別地区中高一貫教育推進協議会委員長

(湧別町教育委員会教育長)

阿部勉

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より本町教育に格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび湧別町では、教職員のICT活用指導力の向上を目的とした研修会を計画しております。

つきましては、ご所属の加藤 一義様に講師としてご指導いただきたく、下記のとおりご依頼申し上げます。ご多用のところ恐縮ではございますが、講師派遣についてご承認賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 研修名 : 湧別地区中高一貫教育推進協議会主催 ICT 活用研修会
2. 日時 : 令和7年12月25日(木) 10時00分～16時30分
12月26日(金) 10時00分～15時30分
3. 会場 : 湧別町立ゆうべつ学園 1F 第2多目的室
4. 内容 : Canva の利活用と授業改善について
5. 対象者 : 湧別高校・上湧別学園・ゆうべつ学園・芭露学園教職員
6. 謝礼 : 80,000円(交通費・宿泊費・資料作成費・諸経費込)

何卒よろしくご配慮くださいますようお願い申し上げます。

敬具

この件に対するお問い合わせ
湧別地区中高一貫教育推進協議会
教育課程部会 部長
(湧別町立ゆうべつ学園教頭)
豊原隆之

令和7年11月吉日

靱山 修斗 様

湧別地区中高一貫教育推進協議会委員長

(湧別町教育委員会教育長)

阿 部 勉

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素より本町の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、このたび湧別町では、教職員の ICT 活用指導力向上を目的として研修会を計画しております。
つきましては、ぜひ講師としてご指導を賜りたく、下記のとおりご依頼申し上げます。

記

1. 研修名 : 湧別地区中高一貫教育推進協議会主催 ICT 活用研修会
2. 日 時 : 令和7年12月26日(金) 10時00分～15時30分
3. 会 場 : 湧別町立ゆうべつ学園 1F 第2多目的室
4. 内 容 : Canva の利活用と授業改善について
5. 対象者 : 湧別高校・上湧別学園・ゆうべつ学園・芭露学園教職員
6. 謝 礼 : 40,000円(交通費・宿泊費・資料作成費・諸経費込)

ご多忙のところ恐れ入りますが、ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

この件に対するお問い合わせ
湧別地区中高一貫教育推進協議会
教育課程部会 部長
(湧別町立ゆうべつ学園教頭)
豊原隆之

令和7年11月吉日

幕別町教育委員会教育長

笹原敏文様

湧別地区中高一貫教育推進協議会委員長

(湧別町教育委員会教育長)

阿部勉

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より本町教育に格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび湧別町では、教職員のICT活用指導力の向上を目的とした研修会を計画しております。

つきましては、靱山 修斗様に講師としてご指導いただきたく、下記のとおりご依頼申し上げます。ご多用のところ恐縮ではございますが、講師派遣についてご承認賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 研修名 : 湧別地区中高一貫教育推進協議会主催 ICT 活用研修会
2. 日時 : 令和7年12月26日(金) 10時00分～15時30分
3. 会場 : 湧別町立ゆうべつ学園 1F 第2多目的室
4. 内容 : Canva の利活用と授業改善について
5. 対象者 : 湧別高校・上湧別学園・ゆうべつ学園・芭露学園教職員
6. 謝礼 : 40,000円(交通費・宿泊費・資料作成費・諸経費込)

何卒よろしくご配慮くださいますようお願い申し上げます。

敬具

この件に対するお問い合わせ
湧別地区中高一貫教育推進協議会
教育課程部会 部長
(湧別町立ゆうべつ学園教頭)
豊原隆之

令和7年11月吉日

幕別町立札内北小学校

校長 西田 茂生様

湧別地区中高一貫教育推進協議会委員長

(湧別町教育委員会教育長)

阿 部 勉

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より本町教育に格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび湧別町では、教職員の ICT 活用指導力の向上を目的とした研修会を計画しております。

つきましては、靱山 修斗 様に講師としてご指導いただきたく、下記のとおりご依頼申し上げます。ご多用のところ恐縮ではございますが、講師派遣についてご承認賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 研修名 : 湧別地区中高一貫教育推進協議会主催 ICT 活用研修会
2. 日 時 : 令和7年12月26日(金) 10時00分～15時30分
3. 会 場 : 湧別町立ゆうべつ学園 1F 第2多目的室
4. 内 容 : Canva の利活用と授業改善について
5. 対象者 : 湧別高校・上湧別学園・ゆうべつ学園・芭露学園教職員
6. 謝 礼 : 40,000円(交通費・宿泊費・資料作成費・諸経費込)

何卒よろしくご配慮くださいますようお願い申し上げます。

敬具

この件に対するお問い合わせ
湧別地区中高一貫教育推進協議会
教育課程部会 部長
(湧別町立ゆうべつ学園教頭)
豊原隆之

12/25.26

Canva

を学ぶ

まずは、Canvaの世界に
 一歩踏み出してみよう！
 きっと！面白さがわかるはず！

| | 1日目 25日(木) | 2日目 26日(金) |
|----|--|---|
| 午前 | 【10:00～13:00】 各学校訪問 希望校に講師が直接おじゃまし、 意見交流できます！ | 研修2 【10:00～12:00】 共同編集&プレゼン実践 |
| | 研修1 【14:30～16:30】 Canva 基礎完全マスター | 研修3 【13:30～15:30】 画像・動画編集&Canva Code 体験 |

連絡事項

- (1)中高一貫事業ですが、各義務教育学校の前期課程所属職員方々も参加可能です。
- (2)研修1～3まで、全て対面・ZOOM のどちらでも参加可能です。

講師の紹介

○加藤 一義氏

厚沢部町教育委員会 指導主事。ICT 活用と理科教育を専門に、GIGA スクール推進や生成 AI の教育活用を担当。北海道 3 名の Teacher Canvassador の一人で、生成 AI パスポート保有。Canva 教育者コミュニティ北海道 (CEC) 代表 GEG 道南リーダー、日本理科教育学会北海道支部理事 として地域教育を支え、学校・看護学校・大学での授業改善や研修に幅広く携わっている。

○靱山 修斗氏

幕別町立札内北小学校教諭。CEC 北海道メンバー。
 幕別町立札内北小学校教諭のほか、十勝教育研究所副主任所員として週 2 日出向中。ICT 活用や社会科、国際理解教育を中心にしながら、授業づくりを行なっている。ロイロ認定ティーチャー、シンキングツールアドバイザーNEXT、AppleTeacher、Padlet (PEG Japan) などとしても活動中。最近では、生成 AI の活用や情報モラル教育について研究し、発信、研修講師などを務めている。



12月22日(月)〆切

申込はコチラ→

<https://forms.gle/6GoAAAtYwvC2XsQvD9>

12月25日 午後14:30～16:30

◆研修1：Canva 基礎完全マスター（13:30～15:30／2時間）

ねらい：『著作権理解と基本操作を習得し、安心して教材・広報物を作成できる基盤を築く。』

◎内容構成

1. 導入：教育現場での Canva 活用（10分）

- なぜ今、学校現場で Canva なのか
- Canva for Education の強み（無料＋機能制限なし）

2. 著作権の正しい理解（20分）

- 超重要！安心して使うための知識
- 学校での著作権の基本
- 教育利用における著作権法 35 条の理解
- 「授業目的公衆送信補償金制度」との関係
- Canva 素材の著作権ルール
- Canva 内素材の商用・非商用利用の違い
- ライセンス表示の確認方法
- 外部画像をアップロードする際の注意点
- やってはいけない NG 事例
- インターネット画像の無断使用
- 生徒作品の取り扱い（肖像権・著作権）
- 保護者への配布物での注意点
- 安全に使えるリソース
- Canva プロ素材（無料で使える 7,500 万点）
- Creative Commons ライセンス画像の探し方
- 学校で使える写真素材サイト

3. 基本操作ハンズオン（40分）

【演習①】学校だより・学級通信を作ろう（25分）

課題：「次号の学校だより見出し」または「学級通信 1 ページ」を作成

- 基本操作を全て体験
- アカウント登録とログイン
- 図形・イラスト・アイコンの活用
- テンプレート検索のコツ（日本語＋英語キーワード）
- 読みやすいフォント組み合わせ
- テキスト編集（フォント選び、サイズ、色、配置）
- 視線誘導を意識したレイアウト
- 画像挿入と配置（素材検索、アップロード、切り抜き）
- 実践的テクニック
- レイアウト調整（整列、グループ化、重なり順）
- 学校らしい色使い（派手すぎない配色）

【演習②】授業用ワークシート作成（15分）

課題：「明日の授業で使えるワークシート」を 1 枚作成

教科別サンプル提示

- 国語：読書記録カード、作文構成シート
- 数学：グラフ用紙、図形問題シート
- 理科：実験レポート、観察記録
- 社会：年表ワークシート、地図書き込みシート
- 英語：単語学習カード、会話スクリプト

4. 保存・共有・ダウンロード（15分）

- 保存方法
- 自動保存の確認
- ファイル名の付け方（管理しやすい命名規則）
- フォルダ整理術
- ダウンロード形式の使い分け
- PDF（印刷用、配布用）
- PNG（透明背景、高画質）
- JPEG（容量軽量、写真多用時）
- 共有方法の基本
- 印刷設定のコツ（トンボ、裁ち落とし）
- リンク共有（閲覧のみ・編集可能）
- メール招待
- QR コード生成

5. 作品共有&まとめ（15分）

- 参加者作品のギャラリー閲覧
- 良いデザインのポイント解説

質疑応答

次回予告：「チームで作る」共同編集を体験

12月26日 午前10:00~12:00

◆研修2：共同編集&プレゼン実践 (10:00~12:00/2時間)

ねらい：チーム協働機能とプレゼンテーション作成をマスターし、校務・授業での実践力を高める。

内容構成

1. 共同編集機能の全貌 (30分)

【デモンストレーション】リアルタイム共同編集の威力 (10分)

- 複数人で同時に1つのデザインを編集
- 役割分担での効率的な作業方法
- 教科会議、学年会議での活用イメージ

【機能解説】(20分)

- チーム作成と招待
- チームの作り方 (学年チーム、教科チーム)
- メンバー招待方法 (メール、リンク)
- 権限設定 (閲覧のみ、編集可、管理者)
- 共同編集の便利機能
- コメント機能 (フィードバック、質問)
- リアルタイムカーソル表示 (誰がどこを編集するか)
- バージョン履歴 (過去の状態に戻す)
- コメント返信とスレッド機能
- 共有フォルダの運用
- 学校テンプレート集の作り方
- ブランドキット (学校ロゴ、校章、スクールカラー登録)
- 共有素材ライブラリの整備

2. 演習③：チーム制作プロジェクト (50分)

【3~4人1組でプロジェクト作成】

プロジェクト選択肢 (チームで1つ選ぶ)

- A. 学校説明会用プレゼン (10スライド程度) B. 保護者会資料 (進路説明、学校行事案内など)
C. 文化祭・体育祭ポスター&プログラム D. 探究学習発表スライド (生徒用ひな形)

●制作の流れ (45分)

●役割分担 (5分)

- デザイン担当、文章作成担当、素材収集担当

●共同編集制作 (30分)

- リアルタイムで同時作業
- コメント機能で意見交換
- 講師が各チーム巡回サポート
- 仕上げ&調整 (10分)
- 全体の統一感チェック
- 誤字脱字確認
- 最終レイアウト調整
- 発表タイム (5分)
- 各チーム1分で作品紹介
- 工夫したポイント共有

3. プレゼンテーション機能実践 (35分)

【プレゼンモードの使い方】(15分)

- 基本操作
- プレゼンテーションモード起動
- スライド送り (クリック、矢印キー、リモコン対応)
- スライドノート表示 (発表者用メモ)
- 高度な機能
- 自動再生設定 (無人展示用)
- タイマー設定 (各スライドの表示時間)
- スライドリンク (目次から飛ぶ)
- オンライン発表モード (URLで遠隔共有)

【演習④】効果的なプレゼンスライド作成 (20分)

課題：「次の職員会議で使う提案資料」 or 「授業用解説スライド5枚」

- プレゼンデザインの鉄則
- 1スライド1メッセージ
- 文字は最小限、ビジュアル重視
- フォントサイズの最低ライン (後ろから見える大きさ)
- アニメーション (ページめくり効果) の活用
- 教育現場向け Tips
- 授業スライド：生徒の集中を保つ色使い
- 保護者向け：信頼感のあるデザイン
- 職員会議：簡潔でわかりやすい構成

4. まとめ&質疑応答 (5分)

共同編集活用の校内展開アイデア

次回予告：画像・動画編集と Canva Code

12月26日 午後13:30~15:30

◆研修3：画像・動画編集&Canva Code 体験（13:30~15:30/2時間）

◆ねらい：ビジュアル編集の高度なスキルとインタラクティブ教材作成を習得し、生徒の学びを深める教材開発力を身につける。

内容構成

1. 画像編集マスター（40分）

【基本編集】（15分）

- よく使う編集機能
- 背景削除（人物切り抜き）
- 画像の明るさ・コントラスト調整
- トリミング・回転・反転
- フィルター効果（ヴィンテージ、モノクロなど）

【高度な編集】（10分）

- Magic Eraser（不要物削除）
- 写真の邪魔な物を消す
- 教材写真の整理に便利
- Magic Edit（部分編集）
- 特定部分の色変更
- オブジェクトの追加・置き換え
- AI画像生成（Dream Lab）
- テキストから画像生成
- 教科書にないオリジナル図解作成

【演習⑤】教材用画像編集（15分） 課題：「授業で使う画像素材を編集」

実践例

- 理科：実験写真の背景削除→教材化
- 社会：歴史写真の補正→プリント掲載
- 美術：作品写真の切り抜き→展示ポスター
- 体育：フォーム写真の注釈入れ

2. 動画編集実践（40分）

【Canva 動画編集の強み】（10分）

- プロ級の動画が簡単に作れる理由
- 教育現場での動画活用シーン
- 反転授業用解説動画
- 学校紹介動画
- 生徒作品発表ムービー
- 保護者向け行事報告

【動画編集の基本操作】（15分）

- タイムライン編集
- クリップの追加・削除・並び替え
- トリミング（不要部分カット）
- トランジション（場面切り替え効果）
- テキスト・BGM追加
- BGM選択（著作権フリー音楽）
- テロップ挿入（アニメーション付き）
- ナレーション録音
- エフェクト・フィルター
- 明るさ調整
- 速度変更（スロー・早送り）
- ステッカー・図形の動き

【演習⑥】ショート動画作成（15分） 課題：「30秒~1分の教材動画」または「学校PR動画」

- テンプレート活用
- Instagram/TikTok風テンプレート
- YouTube風テンプレート
- 教育用プレゼン動画テンプレート
- 実践例 数学：公式解説動画 英語：単語発音動画 理科：実験手順動画 総合：探究活動記録ムービー

3. Canva Code：インタラクティブ革命（35分）

【衝撃のデモンストレーション】（10分）

- Canva Codeとは？
- プログラミング不要のインタラクティブコンテンツ
- 自然言語で指示するだけで動く教材が完成
- 事例紹介

クリック式クイズ ドラッグ&ドロップ学習ゲーム タイムライン型年表 インタラクティブ地図

【基本操作】（10分）

- Canva Codeの始め方
- デザインにコード追加
- 指示文の書き方の基本
- 動作テスト&デバッグ
- よく使うインタラクション
- ボタンクリックで表示/非表示
- クイズの正誤判定
- スコア表示
- タイマー機能

【演習⑦】インタラクティブ教材作成（15分） 課題：「授業で使える3問クイズ」を作成

- 教科別アイデア提供
国語：「漢字読み方クイズ」 数学：「計算問題チャレンジ」 理科：「実験器具名称クイズ」
社会：「歴史人物マッチング」 英語：「英単語4択問題」
- サポート体制
- サンプルコード配布（コピペOK）
- 講師が個別にアドバイス
- 参加者同士で相互テストプレイ

4. 総まとめ&未来への展開（5分）

【3回の研修で習得したスキル】

- 著作権を守った安全な素材活用
- 基本操作から高度な編集まで
- チーム協働での効率的な制作
- プレゼンテーション設計
- 画像・動画編集
- インタラクティブ教材開発

令和7年度 中高一貫教育合同講演会開催要項

- 1 目的 講話を通して、夢や目標に向かって努力することや実現するために必要なことなどについて学ぶ。
- 2 日時 令和7年10月 7日(火) 13:00~14:30 (うち10分程度の質疑応答)
- 3 会場 湧別町文化センターTOM 大ホール
〒099-6404 紋別郡湧別町栄町 3020 番地の1
☎01586-2-2218

- 4 講師 杉谷 拳士 氏 (株式会社 ZENSHIN CONNECT 代表取締役)
「前進の心得」
※トークショー形式として実施
進行はボイスオブオホーツクスカイ森野華奈氏 (北見市)

- 5 参加対象 湧別町内の義務教育学校 (後期課程)、高校生及び教職員

| 参加予定数 | 生徒数 | 職員数 | 計 |
|--------|-----|-----|-----|
| 湧別高校 | 98 | 15 | 113 |
| 上湧別学園 | 70 | 14 | 84 |
| ゆうべつ学園 | 51 | 13 | 64 |
| 芭露学園 | 9 | 9 | 18 |
| 計 | 228 | 51 | 279 |

- 6 当日の日程 (移動については、各校ごとに)

- 12:30頃 学校出発 移動手段:バス
12:50頃 TOM 到着 (会場着席完了)
13:00 講師紹介 (湧別高校代表生徒)・講演開始
13:05 杉谷拳士 氏 講演 (トークショー形式)
14:00 質疑応答 (マイク係:ゆうべつ学園 質問:上湧別学園代表生徒)
14:10 花束贈呈 (簡単な謝辞含) (芭露学園代表生徒)
14:15 講師退場
14:20 生徒退場 (退場順は、芭学 → 湧高 → 上学 → ゆ学 とする。)
(特活生徒指導担当で後片付け) 会場復元 → 打ち合わせ
14:45頃 学校帰着→アンケート・感想文記入

- 7 連絡・注意事項等

- ① 携帯電話は電源を切るか、マナーモードにしておく。
- ② 移動の際は事故に気をつけ、交通の迷惑にならないようにする。
- ③ 写真撮影は引率の教員が行うのを認める。(生徒の撮影はNG)

8 役割分担（4校でローテーション）

| | 年度 | 9年 | 8年 | 7年 | 6年 | 備考 |
|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 生徒 | 司会※湧高固定 | 湧高 | 湧高 | 湧高 | 湧高 | 講師紹介 |
| | 花束贈呈（謝辞） | 上学 | ゆ学 | 芭学 | 上学 | 謝辞を含める |
| | 講師への質問 | ゆ学 | 芭学 | 上学 | ゆ学 | ※R7より変更 |
| | 質問マイク | 芭学 | 上学 | ゆ学 | 芭学 | |

※1 花束発注先 石田造花店 湧別町緑町 01586-5-2495
 当日会場へ配送を依頼 請求書予算 5,000円 請求書は湧高、陶山事務長さんへ

9 予算 講演料・旅費……………430,000円
 花束代（1人分）… 5,000円
 合計 435,000円

10 その他

・質問がない場合に備え、担当校で質問者を数名程度、事前に決めてください


※前日準備はありません。



杉谷 拳士さん 講演会



- 1 日時 令和7年10月7日(火) 13:00~14:30
- 2 会場 湧別町文化センターTOM ホール
- 3 講師 杉谷拳士氏(株式会社ZENSHIN CONNECT 代表取締役)

| | |
|---|--|
|  | 杉谷 拳士氏 1991年東京都出身。2009年に入団テストを経て日本ハムファイターズに入団。現役時代、身長173cmと野球選手としては小柄ながら、投手捕手以外の7ポジションを守り、かつスイッチヒッターとしてマルチにチームに貢献。2019年5月23日には両打席本塁打を記録。ユーモアたっぷりの性格で、球界きっての愛されキャラとして多くの野球ファンを魅了した。在籍14年、2022年に現役引退し、2023年4月3日に株式会社ZENSHIN CONNECT を設立。スポーツリポーターやタレント活動のほか、全国でスポーツ振興を目的とした講演会や出前授業などを行っている。 |
|---|--|

4 演題 『前進の心得』

5 当日の日程

- 12:30頃 学校出発 移動手段:バス
- 12:50頃 さぎ波到着(会場着席完了)
- 13:00 講師紹介(司会 湧別高校代表生徒)・講演開始
- 13:05 杉谷拳士氏 講演(トークショー形式)
- 14:00 質疑応答(マイク:湧別学園代表生徒)
- 14:10 花束贈呈(謝辞)(芭露学園代表生徒)
- 14:15 講師退場
- 14:20 生徒退場(退場順は、芭学→湧高→上学→ゆ学とする。)
- 14:45頃 学校帰着→アンケート・感想文記入

6 連絡・注意事項

- (1) 携帯電話は電源を切るか、マナーモードにしておいてください。
- (2) 会場の後かたづけ(イスの整理など)への協力をお願いします。
- (3) 講演会時は、マナーに気をつけるとともに、服装面などにも気をつけてください。
- (4) 講演内容の録音、ビデオ撮影、写真撮影はできません。ご協力をお願いいたします。
- (5) 会場の密を避けるため、保護者の方のご来場はご遠慮ください。

令和7年8月29日

各関係学校長 様

湧別地区中高一貫教育推進協議会委員長
(湧別町教育委員会教育長)

阿 部 勉

令和7年度 中高一貫教育合同講演会の開催について

残暑の候、貴職におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、標記講演事業につきまして、別紙のとおり開催いたしますので、貴校生徒・及び職員の方の講演会参加につきまして特段の御配慮をいただきますようお願いいたします。

お問い合わせ先

中高一貫教育 特別活動・生徒指導部会 部長

湧別町立芭露学園 後期教頭 坂田 直繁

電話 6-2463

FAX 6-2401

令和7年度 湧別町中高一貫リーダー研修会実施要領

- 1、ねらい
 - (1) 町内の義務教育学校3校と高等学校の生徒会役員が一堂に集い、役員同士の交流・親睦を図る。
 - (2) 生徒会役員としての心構えやリーダーの役割を学ぶとともに、生徒会の仕事について学ぶ。
 - (3) コミュニケーション能力や課題解決能力を高め、研修会で学んだことを自校の生徒会活動に還元し、生徒会活動の活発化を図る。
- 2、期 日 令和8年2月11日（水） 9:30～11:15 ※天候等による延期は行わない。
- 3、会 場 北海道湧別高等学校 会議室（予定）
- 4、対 象 湧別高等学校、ゆうべつ学園・上湧別学園・芭露学園の後期課程の生徒会役員（執行部／書記局）および生徒会顧問 ※前期課程の児童は対象としない。
- 5、日程と内容

| 時間帯 | 企画と内容 | 備考 |
|-------------|--|---------|
| ～9:10 | スクールバス到着 | |
| 9:15～9:30 | 受付 | |
| 9:30～9:35 | 開会式 | 担当：ゆう学 |
| 9:35～9:55 | 学校紹介（各校5分程度で、生徒会行事と運営方法などの紹介） | 発表は各校 |
| 9:55～10:10 | 講座1「生徒会リーダーとしての心構えと行事の運営」（仮題） | 担当：湧別高校 |
| 10:10～10:30 | 講座2「フレンドリータイム」 参加者の交流が深まる企画を、担当校で検討中 | 担当：ゆう学 |
| 10:30～10:40 | 休憩（自由交流） | |
| 10:40～11:00 | 講座3「以下のいずれかのテーマに関する模擬討議」 ①リーダーに必要な資質は何か？ ②生徒総会の議論を活発にするためには？ | 担当：ゆう学 |
| 11:00～11:10 | 講評（生徒会担当教諭2名から） 振り返り（QRコードでアンケートに回答） | 上学、芭学 |
| 11:10～11:15 | 閉会式 | 担当：ゆう学 |
| 11:15～ | 会場片付け | |
| 11:30～ | スクールバス出発 | |

- 6、主な活動内容について
 - (1) 開会式（司会進行：ゆうべつ学園）
 - ①開会の言葉（山下 愛未）
 - ②生徒会長の挨拶（森谷 桢蒼）
 - ③日程の説明と諸連絡（野津 絢斗）
 - ④閉会の言葉（山下 愛未）
 - (2) 学校紹介（各校の持ち時間は5分で、発表3分程度、質疑応答2分程度）
 - ①発表順は、ゆうべつ学園—上湧別学園—芭露学園—湧別高校とします。
 - ②発表内容は、各校の「主な生徒会行事紹介」と「それに関わる生徒会執行部の動き（運営方法）」で準備してください。
 - ③事前に自校で、タブレットを用いて動画や写真を活用してスライド（プレゼン資料）を作成してください。文字や口頭だけの紹介にならないように創意工夫をお願いします。
 - (3) 講座1「生徒会リーダーとしての心構えと行事の運営」（仮題）
 - ①講座1については、中学生（後期課程生徒）よりも経験を積んでいる湧別高校生徒会もしくは生徒会

担当者に委嘱しますので、準備のほどよろしくお願ひします。

- ②生徒会を運営するにあたって、役員としての心構えや心得ておかなければならない事柄について、熱く語ってください。
- ③行事を企画したり、運営する上での心得や留意点、生徒が円滑に動けるように生徒会としてどのような配慮が必要か、等について具体例などを交えながら説明をお願いします。
- ④内容はおおむね上記のようなものですが、タイトルおよび話の詳細は湧別高校生徒会に一任します。

(4) 講座2「フレンドリータイム」

- ①当番校のゆうべつ学園が、集まった4校の生徒会役員が交流・親睦を深め、各校の行事に還元できるような企画(少人数、短時間で可能)を一つ準備しますので、一緒に参加してください。
- ②現時点では、「回答一致ゲーム」と「伝言ジェスチャーゲーム」を考えています。

(5) 講座3「以下のいずれかのテーマに関する模擬討議」

| | |
|---|--------------------|
| ア | リーダーに必要な資質とは？ |
| イ | 生徒総会の議論を活発にするためには？ |

- ①2グループに分かれ、上記のテーマについて、意見を出し合い、討議、検討を行う活動です。
- ②各校の現状や実態を交流しながら、改善案や善後策を考えていきますが、無理に結論つけて終了しなくても構いません。
- ③司会進行はゆうべつ学園の生徒会役員が務めます。活発な議論になるように、各校からそれぞれが意見や考えを出し合って盛り上げてください。

(6) 講評、振り返り(上湧別学園生徒会担当、芭露学園生徒会担当)

- ①引率の先生方2名より、簡単に講評をいただきますので、お願いします。
- ②参加した生徒会役員は、QRコードからアンケートに回答していただき、振り返りを行います。

(7) 閉会式(司会進行:ゆうべつ学園生徒会)

- ①開会の言葉(平形 楓)
- ②生徒会長の挨拶(森谷 栞蒼)
- ③諸連絡(菊地 柚陽)
- ④閉会の言葉(平形 楓)

令和8年2月9日

町内各校長 様
特別活動・生徒指導部会員の皆様
生徒会担当の皆様

特別活動・生徒指導部会 坂田直繁

(ゆうべつ学園・児童生徒会担当 山口拓海 神山利彦)

【至急】 リーダー研修会中止のお知らせ

いつもお世話になっております。

標記の件につきまして、2月11日（水）に予定しておりました中高一貫「リーダー研修会」ですが、会場である湧別高校がインフルエンザ罹患者が急増したことを受け、急遽ではありますが、今年度のリーダー研修会はやむなく「中止」とさせていただきますことをご連絡致します。

今まで準備して頂きました各校生徒会役員のみなさんならびに生徒会担当の職員のみなさんには大変残念な思いをさせてしまい大変申し訳ありません。年度末を控え、延期等ができない状況、感染を拡大させない点からご理解願います。

湧別町の地域と文化を交流する

総探レポート

湧別地区

中高一貫教育推進委員会

令和8年2月4日 発行

No. 1 総探部会

令和7年度

～芭露学園の取り組み～

地域学習

例年芭露では7・8年生では地域学習に取り組んでいます。今年度は7・8が複式学級なので同じ内容に取り組みました。「芭露地域」の歴史や文化、また産業について学びを深めていきます。身近だけど知らないことがたくさんありました。

| | |
|-----|----------------------|
| 産業 | ・ ・ ・ 農業、水産業、観光業 |
| 農業 | ・ ・ ・ 酪農、畑作 |
| 水産業 | ・ ・ ・ カキ、ホタテ |
| 観光業 | ・ ・ ・ カーリング、流水館、(遺跡) |
| 歴史 | ・ ・ ・ 遺跡等 |

1、探究！ バロサロマ

年度当初に課題を設定し、7年生ではまず地域探究学習とはこういったものかを学びます。その後地域の歴史を調べ、文化体験や産業体験を経てプレゼンテーション用に資料をまとめます。1月にはふれあい広場で学習発表会があり、前期課程に自分の学習した内容を披露していきます。

2、地域・文化体験の基礎を学ぶ

「JRY 訪問」

| 項目 | 時間 | 内容 |
|--------------|-------------|-----------------------------|
| 展示見学 | 9:50-10:50 | 屯田兵・開拓に関する基礎を学ぶ |
| 休憩 | 10:50-11:00 | |
| 木の体験 | 11:05-11:50 | 薪切り・薪割り体験(屋外) ※木を燃料にする技術 |
| 帰りの身支度 挨拶 | 11:50 | お礼のあいさつ |
| 帰校 | 12:15着 | |

地域学習を始めるにあたり、湧別町ふるさと館「JRY」を訪問しました。湧別町の明治以降の歴史・文化や、開拓の体験など、探究学習の基本を学ぶ目的があります。講師には中島一之館長が担当し、丁寧な説明とアドバイスをいただきました。ありがとうございました。とても勉強になりました。

3、アグリサポートばろう見学

7月には芭露地区にある「アグリサポートばろう」施設を見学して芭露産業についての理解を深めました。アグリサポート事業とは日々の農業を通じて農業が抱える問題を生産者と協力し、農業の継続や作業環境の改善を図る取り組みです。そのTRAセンターである施設を訪問しました。



4、小麦工場を知ろう

9月には芭露にある小麦工場を見学しました。芭露でつくられている小麦がどのような流れで加工され、その加工された小麦がどのような使われ方をしているか、学びことができました。



5、7・8年生「職場体験学習」

9月に7・8年生はゆうべつ学園と合同で「職場体験学習」を実施しました。生徒が希望する様々な市内の企業を訪問し、職業の役割や働く意義、正しい職業観について学んできました。調べたことや体験したことをまとめ、発表する力や表現力を伸ばし、挨拶や令状の作成を通して礼儀やマナーなどを身に付ける目的もあります。訪問先では担当者の方からの説明を聞き、普段学校ではできない体験を通して生徒一人一人の充実した様子が伺えました。



オリエンテーション

JRY訪問

課題設定

地域訪問

職場体験学習

まとめ学習

まとめ発表会

6、9年生「学習発表会」私が湧別町の町長だったら

「私が湧別町の町長だったら」

「私が湧別町の町長だったら」を題材にしたプレゼンテーションを行います。

- ・湧別高校を受験する生徒は、連携入試の課題となる。
- ・校内で発表する時間があります。発表時間5分

「町長になったら町民のためにこんなことをやります！」と、考えてみてください。

①現状の把握 ②提案 ③期待される効果 ④まとめ

- ・どうしてそのようにしたいのか、願いなどを書くとより相手に訴えることができるはず。
- ・なぜそれが必要かを訴える。共感がなければ、人は耳を傾けません。
- ・作成方法はkeynoteもしくはpower point（高校との相互性を図るため）
- ・上記の資料とは別に、発表用の原稿が必要となります。

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 1日 | オリエンテーション 概要説明 どのようなことをしたいか考える |
| 2～8日 | プレゼンテーション 資料作成&練習 |
| 9～11日 | プレゼンテーション リハーサル |
| 12日 | プレゼンテーション 本番 |

例えば、イオンを誘致します。北見や紋別に買い物に行かなくてすむ。(公約)

- ・高齢の方が買い物に行くのが大変。(現状)
- ・町内を無料の循環バスで乗客を乗せるようにする。(具体的な方策)
- ・住みやすい町になれば人口が増える。(期待される効果)
- ・イオンでの雇用が増える。(期待される効果)
- ・税金が入ってくるので町が潤う。(期待される効果)

建てる場所は？ 映画館は？ 服屋さんは？ マクドナルドは？

9年生では総合的な学習の時間を活用して私が「湧別町の町長だったら」をテーマにしたプレゼンテーションを行いました。町長になったら町民のためにこんなことをやります！と様々なアイデアで公約を考え発表しました。保護者の皆様にも来校いただき、みなさん感心した様子で聞いていただきました。



7、9年生の取り組み

～修学旅行・上級学校訪問～

9年生はその他にも様々な機会「地元の理解を深める」「将来を考える」といったテーマで多くの学びを取り入れています。特にキャリア学習である上級学校訪問は、生徒自身の進路を真剣に考える上で貴重な経験でした。



総探レポート

No. 2 総探部会

令和7年度

～ゆうべつ学園の取り組み～

ゆうべつ学

「ゆうべつ学」に取り組んで4年目を迎えました。自分の故郷である湧別やオホーツク、ひいては北海道の自然、歴史、産業、環境、観光などの領域について、今まで知らなかったふるさとの良さに気づき、自分の生き方に繋がる「何か」を発見することを目的としています。

1、課題テーマを検討し、決定しよう

まずはオリエンテーションで何を学習していくのかを把握し、自ら課題を見つけていきます。学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的・創造的に取り組めるよう、総合的な学習の時間の「ねらい」をしっかりと理解していきます。

◎『ゆうべつ学』の目標

①自分のふるさとである湧別やオホーツク、ひいては北海道の自然、歴史、産業、環境、観光などの領域について、自分で興味・関心をもったことへの探求的な学習や調査・実地体験(フィールドワーク)、体験活動などを通して、今まで知らなかった地元のことやふるさとの良さに気づき、自分の生き方に
つながる「何か」をつかんでいく。

←

②疑問に思ったことや深く探求してみたいと思った事柄を、地域の詳しい人に尋ねたり、友人や仲間とアイデアを出し合ったり、他の地域やことがらと比較・検証したり、さらにグローバルな視点から探究することで、地域の再発見や活性化につなげ、ふるさとに積極的に関わろうとする態度を育てていく。



新しいことを知り、
考えを広げる

今知っていること

知っていることを
さらに調べ、深める

2、フィールドワーク

フィールドワークとは自分で決めたテーマをもとにインターネット等で調べ探究してきたことを実際に現地へ赴き、関係者から話を聞き、体感することで理解を深めていく学びのことです。今年度からフィールドワークは年に1回になりました、貴重な経験です。



3、9年生職場体験学習

9年生では職場体験を実施しました。今年度は芭露学園と合同実施でした。興味・関心のある職場を訪問し、必要とされる適性や資格、仕事のやりがいや喜びについて理解を深めました。町内の企業の方々に大変お世話になりました、ありがとうございました。





4、8年宿泊研修（オホーツク学）

9月に8年生では宿泊研修を実施しました。体験学習や制作活動を通して、北見市の産業や歴史、自然に触れ理解を深めました。北網圏北見文化センターは科学館や博物館・美術館がある複合施設で、様々な体験ができました。みんな楽しそうでした。



5、ゆうべつ学フェスティバル

1月には成果発表会である「ゆうべつ学フェスティバル」が開催されました。「ゆうべつ学」で学習したことをお世話になった方々や保護者に成果を披露する場です。異学年とも交流し、プレゼンテーションのまとめ方や内容・発表の仕方について参考にしてもらいます。それぞれの探究学習には生徒自身の知恵と工夫が凝縮されており、とても見応え・聞き応えがありました。地域の方や先生方にもご協力いただいたので感謝の気持ちを持ちながら発表しました。

令和7年度 ゆうべつ学 学習プリント No. 7
～ゆうべつ学フェスティバル本番～

いよいよ「ゆうべつ学フェスティバル」本番です。それぞれの発表は2回。自分が発表するときは、顔を上げて堂々と！他の人の発表は、しっかりと見て聴いて、高校入試や来年のプレゼンの参考に！

確認事項

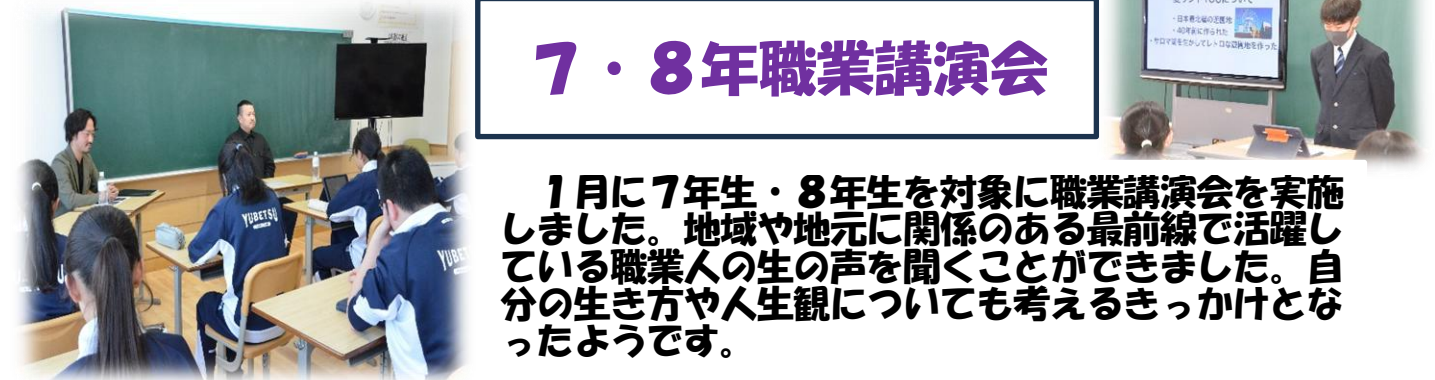
- 発表者は、移動・準備時間にモニターにスライドを写し、すぐに発表できるように準備をしてください。
- 指定されている視聴者以外は、どの教室の発表を見てもかまいません。ただし、全ての学年の発表を同じくらいの回数見るように工夫をして回ってください。
- 欠席者の枠は、そのままとなります。その場合、視聴者は他の教室の発表を見に行ってください。
- 日常の目録と時間が異なっています。トイレは、時間調整・休憩の10:00~10:20、11:20~11:30で行くようにしてください。
- 下のQRコードを読み取り、休憩時間や振り返りの時間を利用して感想を入力してください。 ※1月30日（金）までに入力

- 感想1【良かった点】 7年生の発表で良かった点を具体的に入力してください。
- 感想2【改善点】 7年生の発表で改善した方がよい点を具体的に入力してください。
- 感想3【全体を通して】 7年生の発表を見ての全体的な感想を入力してください。
- 感想4【良かった点】 8年生の発表で良かった点を具体的に入力してください。
- 感想5【改善点】 8年生の発表で改善した方がよい点を具体的に入力してください。
- 感想6【全体を通して】 8年生の発表を見ての全体的な感想を入力してください。
- 感想7【良かった点】 9年生の発表で良かった点を具体的に入力してください。
- 感想8【改善点】 9年生の発表で改善した方がよい点を具体的に入力してください。
- 感想9【全体を通して】 9年生の発表を見ての全体的な感想を入力してください。
- 感想10【自分自身の振り返り】 自分自身の取り組みから発表までの振り返りを入力してください。



7・8年職業講演会

1月に7年生・8年生を対象に職業講演会を実施しました。地域や地元に関係のある最前線で活躍している職業人の生の声を聞くことができました。自分の生き方や人生観についても考えるきっかけとなったようです。



オリエンテーション

課題設定

フィールドワーク

フィールドワーク

ゆうべつ学フェスティバル

リクエスト発表会

湧別町の地域と文化を交流する

総探しレポート

湧別地区

中高一貫教育推進委員会

令和8年2月4日 発行

No. 3 総探部会

令和7年度

～上湧別学園の取り組み～

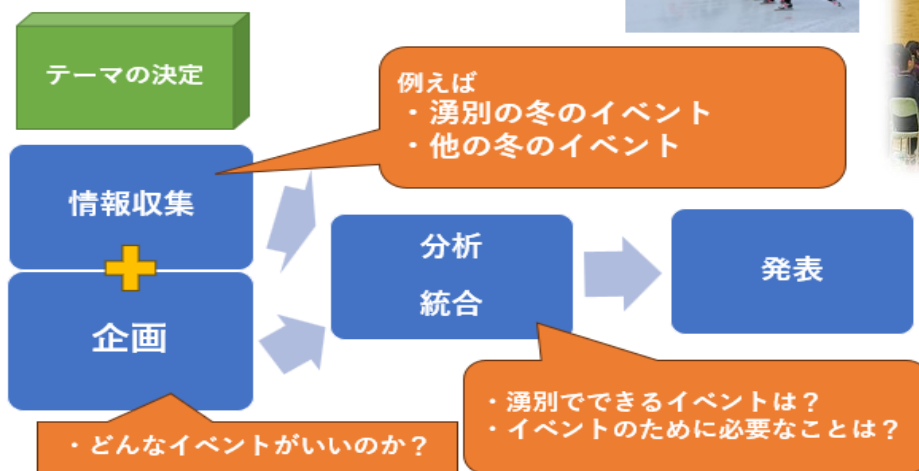
ゆうべつ学

「ゆうべつ学」に取り組むのは今年で2年目になります。昨年同様、湧別に関すること（人、自然、産業、歴史、気候、生き物、海）で自分が興味のある分野について1年間じっくりと調べていきます。

1、ゆうべつ学2年目のスタート

「ゆうべつ学」のスタートにあたり、JRY館長の中島一之さんに話を聞きました。「ゆうべつ学」の魅力と意義を十分に理解した上で、生徒はテーマを設定し下記のように進めていきます。

企画型・発展型



2、前期フィールドワーク



自分のテーマをもとにしてネット等で探究してきたことを、実際に現地に行き観察したり関係者の方から話を聞いたりします。フィールドワークは前期と後期の2回実施されます。

3、中間発表会



前期のまとめとして「ゆうべつ学」の中間発表会が行われました。生徒それぞれがまとめたものをkeynoteで作成し、一人7分～10分程度でプレゼンテーションしました。



4、後期フィールドワーク



後期は探究してきたことをさらに深掘りしました。少し肌寒い12月に行われました。疑問に思っていることや、さらなる詳細な知識を求めて訪問し理解を深めました。

1年間のまとめとして「ゆうべつ学」成果発表会が行われました。フィールドワークから時間が少ない中まとめ作業を頑張りました。生徒達はお互いの発表を聞いて湧別の知らなかったところが発見でき新たな気づきに繋がりました。

5、「ゆうべつ学」成果発表会



7・8年生

- 1 前期に学んだこと
- 2 後期のテーマと仮説(このテーマや仮説にした理由について・前期との関連について)
- 3 探究活動やフィールドワークでわかったこと
- 4 仮説は正しかったのか・実現可能かどうか
- 5 1年間を通しての感想(調べて学んだこと、来年度調べてみたいこと)

9年生

- 1 前期の発表内容(前期に作ったものをそのまま使ってもOK)
- 2 後期のテーマと仮説(このテーマや仮説にした理由について・前期との関連について)
- 3 探究活動やフィールドワークでわかったこと
- 4 仮説は正しかったのか・実現可能かどうか
- 5 1年間を通しての感想(調べて学んだこと、新たな疑問など)



新篠津中学校との交流

上湧別学園7年生では例年、新篠津中学校とオンライン交流があり、「ゆうべつ学」で探究してきたことを新篠津中学校の生徒に披露する授業があります。お互いに総合的な学習の時間に取り組んできたことを交流する学習は上湧別中学校時代から数年続いています。今年度は新篠津の教頭先生が来校され、新篠津をテーマにした生徒との面談も実現しました。



オリエンテーション

講演会

課題設定

前期フィールドワーク

中間発表会

後期フィールドワーク

まとめ発表会

総探しレポート

No. 4 総探部会

令和7年度

～北海道湧別高校の取り組み～

未来計画

湧別高校では「未来計画」に取り組んでいます。自らが興味・関心をもつテーマを自由に設定し、生徒が感じた課題について、研究・取り組みを行い、資料としてまとめて12月に発表を行います。地域の方にも足をお運びいただき、未来計画を通して地域との繋がりを深めています。

1、講演を聞いて課題設定に臨む～「問い」と「失敗」を考える～

「未来計画」をスタートするにあたり、オリエンテーションとして小樽商科大学より大湊亮輔氏をお招きし「問いの立て方や「失敗から学ぶこと」など、今後学習を進めていく上でポイントとなるお話をたくさんいただきました。生徒自身の想像力と追及する力を高め、発問に対する意欲の醸成を狙っています。



2、探究サポーターとの情報収集

年間5時間程度、町内の役場や地元企業、義務教育学校の先生の方々に探究サポーターとしてお越しいただきました。生徒の探究活動の様子を見て評価いただくとともに、生徒の課題に関する情報提供や様々なアドバイスをもらうことができました。お忙しい中学生のためにご協力いただきありがとうございました。



「学校のゴミを減らすには？」

さて、みなさんは大湊さんの講演の内容を覚えていますか？

前半は「学校のゴミを減らすには？」というワークを行いました。ここではまず、学校ではどのようなゴミが出ているのかをグループで話し合って検討をしました。その次に、各グループの中で気になるゴミの課題設定を決めて、ゴミ削減のサブテーマを決めました。例えば、「プリントを減らす」「ペットボトルを減らす」などです。その後、現状を把握するために、実際に学校の中を調査しました。その際、教室などのゴミを観察や友人知人にヒアリング、自分たちの生活習慣を振り返るなどを行いました。各グループが得た情報を基に、解決する方法を話し合いました。このような活動を通して実際にどれくらいゴミを減らせるのかを数値化しました。

このように、①サブテーマを選ぶ、②現状を把握する、③解決策を検討する、を行ったのが前半の内容です。

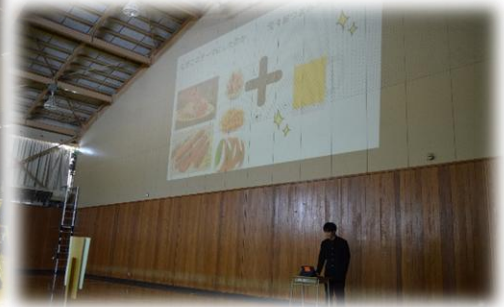
3、中間発表会、前期振り返り



中間報告会では、発表ではなく交流会の形式で、進捗の確認や情報共有など話し合いを主体とするものにしました。中間報告会での内容をもとに、夏季休業を活用しながら企画の改善を進めていきます。

5、外部活動報告会

12月には活動報告会が体育館にて行われました。生徒の興味・関心のある事柄について学習を進め、その活動の一環として探究の過程と成果をまとめ発表する企画です。今年度は町内の義務教育学校8年生をお迎えし参観していただきました。それぞれのゼミを代表する生徒が発表し、お越しいただいた皆さんから応援のメッセージと励ましのお言葉をいただきました。生徒も充実感を得たようです。



湧別高校「総合的な学習の時間 シラバス」

| | | | |
|----------|--|---|-------|
| 1.科目名 | 総合的な探究の時間(未来計画) | コース | 全学年必修 |
| 2.科目の目標 | (1)自らの興味・関心に従い問い生成する能力を身につける。 (2)試行錯誤を通して課題を解決する力を養う。 (3)課題について地域を積極的に活用することで、地域への繋がりを強める。 | | |
| 3.学年・単位数 | 全学年・年間35時間 | | |
| 4.使用教材 | 使用教科書 | なし | |
| | 準教科書 | なし | |
| 5.評価の観点 | 観点 | 趣旨 | |
| | ①知識・技能 | 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技術を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。 | |
| | ②思考・判断・表現 | 実社会や家庭生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。 | |
| | ③主体的に学習に取り組む態度 | 探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。 | |

| ・年間計 | | | | | |
|---|----------------------------------|--|------|----------|------|
| 月 | 単元 | 学習活動 | 実施時数 | 中学との関連単元 | 実施状況 |
| 4 | 趣旨説明・課題設定 | | | | |
| 5~6 | 情報収集 | ・未来計画の内容の提示を行う。 ・ワークシートを利用し、課題を設定する。 | 11 | | |
| 7 | 中間報告準備 中間報告・前期振り返り | ・インターネットや書籍等を利用して情報を集め、整理・分析する。 | | | |
| 8 | 企画検討・改善 | ・この時点での考えや意見などを、まとめ、表現する。 | | | |
| 9 | 内容詳細作成(夏期休業課題) 【前期未予定実施時数 11】 | ・他の生徒や教員のフィードバックを経て、企画内容の修正・改善の方針を立てる。 | | | |
| 10 | 企画等準備・企画実行 | | | | |
| 11 | 活動報告会準備 | ・前期の活動を踏まえて、企画した取り組みの準備や研究を行う。 | 24 | | |
| 12 | 校内活動報告会・年間振り返り 全体活動報告会 | ・これまでの探究学習における過程をまとめて活動報告の準備を進める。 ・一年間探究に取り組んだプロセスを、他者に分かりやすいようにまとめて発表する。 ・年間を通しての活動を振り返り、これまでの活動を振り返る代表を選出し、外部に向けて発表する。 | | | |
| 【学年末実施予定時数 35】 | | | | | |
| その他 ・毎授業タブレット端末、筆記用具、ノート(必要に応じて)を用意してください。 | | | | | |

番外編 「冬湧楽」

昨年度から始まり、生徒が力を入れている冬湧楽、地域の子どもや大人がみんな楽しめるようなアイデアが随所に盛り込まれています。



オリエンテーション

講演会

課題設定

サポーターとの
情報収集

中間発表会

サポーターとの
情報収集

外部活動成果
報告会

7 中高一貫だより

中高一貫教育 部活動クリニック



湧別町中高一貫教育推進事業の一環である部活動クリニックが11月8日（土）に湧別高校体育館で行われました。今年度も昨年同様北見市を中心に展開しているスポーツクラブ「オホーツクキッズ」の代表である金子航太氏（左写真）を招き、どのスポーツにも通じる「ジャンプトレーニング」・「フィジカルトレーニング」を中心に行われました。

生徒たちの評判も上々。きつくありながら楽しく過ごせたいです。さて、このトレーニングを各種目にぜひ生かしてほしいと思います。以下、参加して生徒たちの感想です。

湧別高校 氏名 澤口 星斗

11月8日に部活動クリニックで金子航太さんに講師をしていただきました。最初は身体の動かし方を学んで、自分の股関節の可動域の限界を知ることができました。次に姿勢を意識することの大切さを学ぶことができ、これからも私生活の中で姿勢を良くするように意識することが大事だと思いました。他には全身を使って力を伝えるには、身体を固めて大きな声を出すことで、より大きな力を出ることができることを学びました。運動する前に使用する筋肉を刺激して、筋肉を呼び覚ますことでその日のパフォーマンスが向上することを学んだので、今後の部活動に取り入れて、良い環境作りをしたいと思います。今回講義をしてくださり、ありがとうございました。

今回講師として参加していただいた金子さんよりみなさんへメッセージが届きました！



湧別町部活動クリニックの講師をさせていただきました。

仕事柄、たくさん地域の中学生や高校生と関わらせていただいています。

湧別町の子どもの特徴はなんといっても素直で疑う心がありません。

「まずやってみよう」が全員に根付いています。

スポーツの上達の道は正解か不正解かはわからない道で挑戦をしていくことが重要です。

湧別町の子どものたちはスポーツの上達に最も大切な武器を持っていると感じました。

これいいな・・・と思ったものを継続してみてください。継続して得た経験は人生にとって必ずプラスになります。湧別町の子どものたちのこれからの期待しています。

また会いましょう！

ゆうべつ学園 氏名 佐々木 優多

今回の部活動クリニックで私が学んだことはどの部活に入ってもトレーニングをすることは大事な事を改めて学びました。なぜなら日常で少しでも意識してみると、活動などのスポーツでのプレイがトレーニングをする前とする時とで変わるからです。その中で特に私が日常でも生かしていきたいことは背筋をまっすぐにすることです。なぜなら走っている時や授業を受けているときなどの普段からしていることにちょっとでも姿勢を意識して取り組むと、部活動などで自分の力を前よりも発揮できるからです。そんなかけがえのない所でしっかりと意識して前の自分を超えて頑張って取り組んでいきたいです。そして自分からも自主的に取り組む事を心がけていきたいと思いました。



芭露学園 氏名 佐々木 奨吾

今回、部活動クリニックで印象に残っているトレーニングが3つありました。1つ目は、仰向けになって膝を肩につけるトレーニングで、股関節が固くて太ももの筋肉が伸びて痛気持ちよかったです。2つ目は、波動のトレーニングで、動きが「ぐにゃん」としていて、普段しない動きだったので新鮮でした。3つ目は、メディシンボールを上へ投げるトレーニングで、声を出したら、力がちょっと強く出せることが勉強になりました。次の日は筋肉痛になったけれど、色々なトレーニングができて楽しかったです。

今回はありがとうございました。

上湧別学園 氏名 武藤 圭吾

僕は、11月8日に行われた部活動クリニックで、講師の方に教えていただいた基礎的なトレーニングの部分をこれからの部活動に活かしていきたいと思いました。

具体的には、股関節の可動域を増やすトレーニングなどを部活動の開始前に行い、部活での活動をより効果的に取り組めるようにしていきたいです。

今回は、教えていただきありがとうございました。



今年度部活動クリニックは、何かの種目限定のものではなく、体の使い方やトレーニング全般に関する事など、どの種目にも通じるものになりました。近年、部活動では基礎トレーニングが重要視されており、ただ単に体を強くすることではなく、バランスや体幹など体の内側も鍛えていくことが重要視されています。その意味では、今クリニックは非常に有意義なものになったのではないのでしょうか？これをきっかけに日々のトレーニングを積み、大きく羽ばたく選手になってほしいです！

(ゆうべつ学園 教頭 豊原 隆之)

地域と密着・活気に満ちた教育

湧別地区

中高一貫教育推進委員会

令和7年11月14日発行

中高一貫教育だより

No. 86

中高一貫教育合同講演会 杉谷 拳士 氏

10月7日に行われた、ゆうべつ地区中高一貫教育「合同講演会」の報告です。

現在も活躍されている、杉谷 拳士 氏（株式会社 ZENSHIN CONNECT 代表取締役）を招き、有意義な講演会となりました。それぞれの感想を掲載いたします。

テーマ：「前進の心得」



杉谷 拳士 氏

1991年東京都出身。2009年に入団テストを経て日本ハムファイターズに入団。現役時代、身長173cmと野球選手にしては小柄ながら、投手捕手以外の7ポジションを守り、かつスイッチヒッターとしてマルチにチームに貢献。2019年5月23日には両打席本塁打を記録。ユーモアたっぷりの性格で、球界きっての愛されキャラとして多くの野球ファンを魅了した。在籍14年、2022年に現役引退し、2023年4月3日に株式会社 ZENSHIN CONNECT を設立。スポーツリポーターやタレント活動のほか、全国でスポーツ振興を目的とした講演会や出前授業などを行っている。

湧別高校 2年 氏名 岡村望暖

今回、杉谷さんがお話してくれたことから挑戦や努力を惜しまず自分を信じる心の大切さ、周りからのサポートへの感謝を忘れないことの大切さを学ぶことができました。野球選手になる上で過酷な練習を乗り越えてきた杉谷さんから、学生時代にどんなことを考えてトレーニングをしていたか、勉強と部活の両立はどうしていたかなど様々なお話を聞かせていただき、その中でも得に挑戦というワードが印象に残りました。何事も挑戦をしなければ始めることはできないから第一歩を踏み出すことが大切なこと、挑戦をする上で自分にはできないなど否定的な考えではなく自分を一番に信じて怖がらないことが重要なことを教えてもらいました。その他にも周りへの感謝の気持ちを持って行動することが大切なことなどもお話ししていただきました。この先、どんなことにも挫けず屈強な精神で努力を続けていこうと勇気をもらえるような講演会でした。ありがとうございました。

上湧別学園 9年 氏名 上松 拓実 吉岡 然

今回、杉谷さんから帽子とボールにサインをいただきました。講演では杉谷さんの経験を生かした、他の方ではあまり聞くことができないようなお話を聞いて、とてもおもしろかったです。ありがとうございます。

講演での「朝起きた時に前向きな気持ちで1日頑張ろう」というお話を聞いて、杉谷さんがここまで成功されてきたのは前向きな気持ちのおかげなのだなど印象に残りました。今回のお話で聞いたことを自分たちの人生に生かし、自分の人生を成功させよう、自分の夢を叶えていこうということを強く感じました。

また、「杉谷さんといえば面白い」というイメージがあったのですが、質問をさせていただいた際に、「優しさ」を感じることができました。私たちもそのような大人になれるように頑張りたいです。

ゆうべつ学園 7年 氏名 仁木愛理

まず、今回の講演会では挑戦することの大切さを学ぶことができました。挑戦することで1日を楽しめたり、人生を豊かにすることができることを学べたので、私も挑戦していきたいと思いました。

また、緊張した時は今の自分を楽しんで緊張をほぐせることを学べたので緊張した時に今の自分を楽しめるようにしていきたいと思いました。

さらに、朝ごはんをしっかり食べることも大切だと学んだので、これからもしっかり食べることを心がけて生活していこうと思いました。

私も野球をやっているので、杉谷さんの講演会で学んだ、挑戦することや朝ごはんをしっかり食べることや緊張のほぐし方を日々の練習などにも生かしていきたいと思いました。

芭露学園 9年 氏名 吉澤 諒祐

僕が杉谷さんのお話で印象に残ったことは2つあります。1つ目は緊張した時のメンタル面です。僕はバドミントンの大会で緊張して練習通りの力を発揮できないことが多く悩むことがありました。ですが、杉谷さんは緊張した時に「こんな自分があるのか」とポジティブに考えると緊張を乗り越えられると話していました。これから高校入試などで、緊張することがありますが緊張をポジティブにとらえ、楽しみたいと思います。

2つ目はお兄さんへの感謝です。杉谷さんは厳しい学生時代を振り返り、お兄さんが野球道具を買ってくれたり、応援してくれたりしたことに優しさを感じていました。お兄さんも素晴らしいですが、身近な人に対して、感謝を忘れない杉谷さんは素晴らしいと感じました。改めて周りの人への感謝が大切だということを感じるきっかけとなりました。



元プロ野球選手の杉谷拳士さんをお迎えし、「挑戦することの価値」についてご講演いただきました。ユーモアを交えながらも、努力を続ける姿勢や仲間を大切にしている心など、子どもたちにとって大切なメッセージをたくさん伝えてくださいました。講演後の生徒の表情からも、前向きな気持ちが伝わってきました。今後の学校生活においても、杉谷さんの言葉を胸に、粘り強く挑戦を続けてほしいと思います。

(事務局)

8 つなぎ学習

令和8年2月18日

各関係学校長 様

北海道湧別高等学校長 今 野 博 友

つなぎ学習の実施について（お願い）

このことについて、次のとおり実施いたしますので、時節柄ご多用のことと存じますが、参加対象者及び関係職員の出席についてご高配くださいますようお願いいたします。

記

1 実施日時

令和8年2月25日（水） 9:25～10:15 国語
10:25～11:15 英語
11:25～12:15 数学

2 実施方法等

- (1) ZOOMによる遠隔実施
- (2) ミーティングID : 852 756 7202
- (3) パスコード : 2CRGxV

3 参加対象者

令和8年度連携型入学者選抜において本校に合格内定となった者。

4 実施内容

参加対象者へ、事前に配付したテキストについて、実施当日までに次の内容を予習しておくよう連絡してください。

- (1) 数学 P20～P25（数と式、方程式）
- (2) 英語 P12～P19（知識活用・リーディング1～3）
- (3) 国語 P43～P52（現代文 論理的な文章読解、文学的な文章読解）

5 その他

- (1) 当日は9:25までに入室してください。（9:00頃から入室可能です。）
- (2) 入学後、本校においてテストを実施予定です。つなぎ学習終了後、上記「4 実施内容」で示した以外の範囲についても各自で学習し、入学後に提出するよう、参加対象者へ連絡してください。
- (3) つなぎ学習終了後、参加対象者へ、以下のQRコードを読み込み、アンケート協力への呼びかけをお願いします。



お問合せ先

北海道湧別高等学校

教頭 相澤 英樹

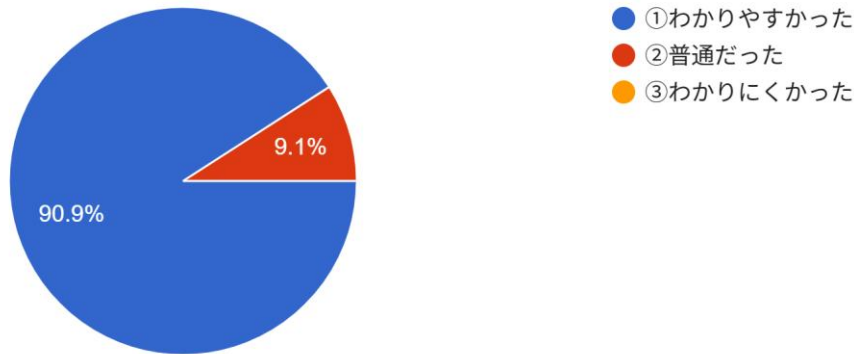
電話 01586-2-2419

FAX 01586-4-2074

つなぎ学習アンケート

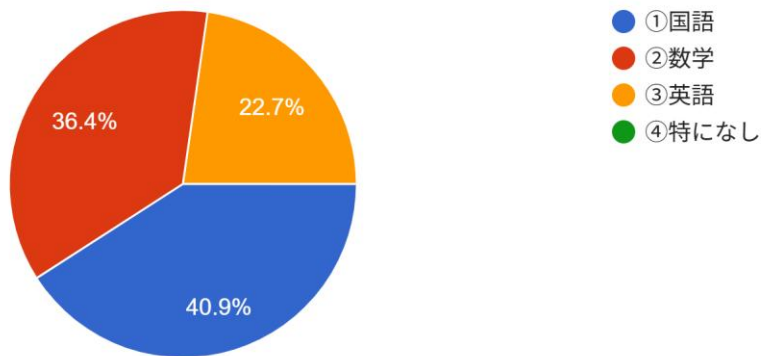
遠隔形式によるつなぎ学習を受けてどうでしたか。

22件の回答



わかりやすかった教科は何ですか。

22件の回答



わかりやすかった理由を教えてください。

(④を選択した場合は回答不要)

*画面共有が見やすい、説明が分かりやすい等

22件の回答

ゆっくり進められていたから

話の内容が面白かったしわかりやすかったです

途中計算のチェックがわかりやすく、どこが間違っていたかわかりやすかったです

画面共有で、線を引きながらするのが分かりやすかったです。あと英語の文の意味などを教えてくれて理解しやすかったです。

例えがあってみやすかったです

途中計算を詳しく説明していたからです。

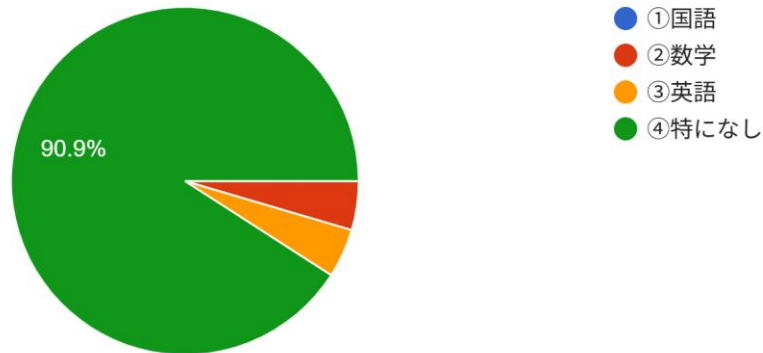
用語にたいてや、文章問題で問題に絡みながらやってくれていたから

途中計算を書いていたから。

説明が丁寧で理解しやすかったです

わかりにくく感じた教科があれば教えてください。

22 件の回答



わかりにくく感じた理由を教えてください。(④を選択した場合は回答不要)

*音声聞き取りにくい、画面が見えにくい等

22 件の回答

特にありません

特にないです

回答不要

自分の理解力の問題

特になし

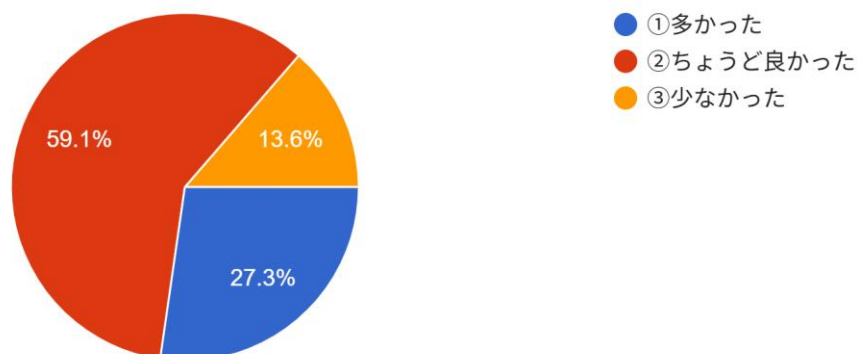
無し

ないです！

特にない

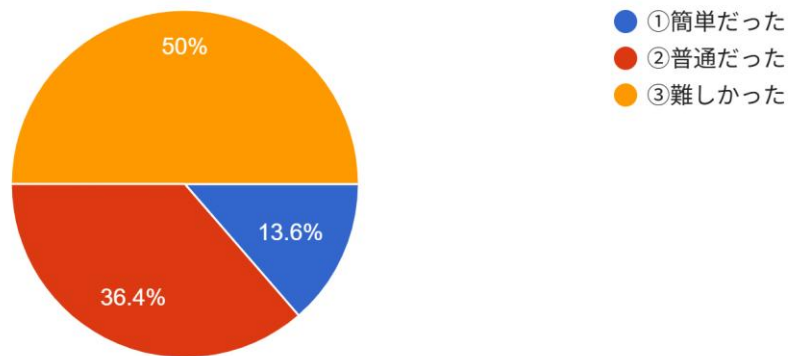
今回のつなぎ学習へ向けた課題の量はどうか。

22 件の回答



今回のつなぎ学習へ向けた課題の内容はどうか。

22件の回答



その他、今回のつなぎ学習の感想や、高校入学後の意気込みなどがあれば自由に記入してください。17件の

回答

勉強が苦手なので高校では部活と勉強を両立させて頑張っていきたいです。

勉強頑張ります！

基本がそもそもできて無さすぎたので、入学までにしっかり抑えたいです。ありがとうございました！！

つなぎ学習で自分が苦手なところなどを知れたので少しずつなくしていきたいと思いました。

本日はありがとうございました。苦手な部分を少しでもなくせるように努力したいと思います。

先生方の説明がわかりやすく安心した。高校生活がもっと楽しみになった。

今回のつなぎ学習をやって数学で数と式が高校の最初に出ることを知ったのでそこを今の内に復習したり他の教科も復習をして高校へ入学後に備えていきたいです。

どの教科も説明が細かくて特に苦手な国語はイメージがしやすかったです。入学後も意欲的に授業に参加できるように頑張るのでよろしく願います。今日はありがとうございました。